

# 目次

---

1. ご使用の前に .....	日本語 - 2
2. 安全のために必ず守ること .....	日本語 - 3
3. 付属品の確認 .....	日本語 - 6
4. 各部の名称 .....	日本語 - 7
5. 設置および操作要領 .....	日本語 - 10
6. 接続 .....	日本語 - 13
7. 基本操作 .....	日本語 - 22
8. Windowsのセットアップ .....	日本語 - 24
9. OSD画面調節 .....	日本語 - 26
10. 困ったとき .....	日本語 - 36
11. 付録 .....	日本語 - 39

# 1. ご使用の前に

- 日本で使用する場合は、日本語の取扱説明書をご参照ください。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、本商品をご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 取扱説明書は「保証書」・「NECサービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。  
本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

ディスプレイの回収・リサイクル  
資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている商品※は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。（P38本機を廃棄するには）  
※ “PCリサイクル”の表示のない商品は、排出時、お客様に回収・リサイクル料金をご負担頂きますので、あらかじめご了承ください。



グリーンマーク

JIS C 0950 (通称 J-Moss) とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況により、次の2種類の表示マークがあります。  
・含有マーク：特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク  
・グリーンマーク：同化学物質が含有率基準値以下（但し除外項目あり）である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク  
本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。  
製品の情報は、<http://www.nec-display.com/environment/j-moss.html> をご覧ください。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Windows®は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。  
Macintoshは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。  
MultiSync®は、NECディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。  
その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

## お知らせ

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は、0.00016%以下です。  
本製品は、ISO-13406-2 基準に従い、ドット抜けの割合基準値は1 サブピクセル（副画素）単位で計算しております。

## 注意

一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO13406-2に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(sub pixels)」となります。つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。  
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの		<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
--	-----------	---	--	-----------	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。		必ず指示に従いおこなってください。
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。		必ずアースリード線を接地（アース）してください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		高圧注意（本体後面に表示）

**お願い** : 取扱い上、特に守っていただきたい内容

**お知らせ** : 取扱い上、参考にしていただきたい内容

: 参考にしていただきたいページ

**【ミニ解説】** : 専門用語の簡単な説明

## 2. 安全のために必ず守ること

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

### 警告

#### 万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

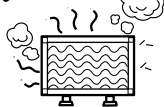
異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

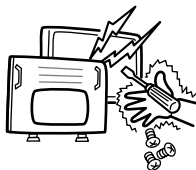
故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない



火災・感電の原因になります。

使用禁止

裏ぶたをはずさない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。

傾斜面や不安定な場所に置かない

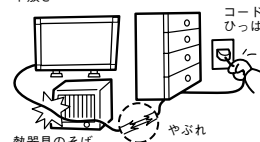


禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

電源コードを傷つけない

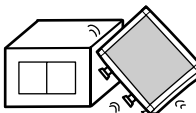
下書き



傷つけ禁止

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因になります。

キャビネットを破損したときは使わない



使用禁止

火災・感電の原因になります。

異物をいれない

特にお子さまにご注意



禁止

火災・感電の原因になります。

ポリ袋で遊ばない

特にお子さまにご注意



禁止

本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。

修理・改造をしない

けが・火災・感電の原因になります。



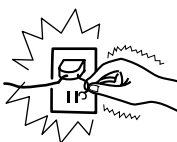
修理・改造禁止

正しい電源電圧で使用する



指定の電源電圧以外で使用するとう火災・感電の原因になります。一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外（最大AC240V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

アースリード線を挿入・接触しない



禁止

電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。

風呂場や水のかかるところに置かない

水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。



水ぬれ禁止

雷が鳴り出したら、電源コード・アンテナ線などには触れない

雷が鳴り出したら電源コード・アンテナ線には触れないでください。感電の原因になります。



接触禁止

液晶を口にしない

液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりしないようにしてください。中毒を起す恐れがあります。万一口に入ってしまったら、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。






警告

# ⚠️ 注意

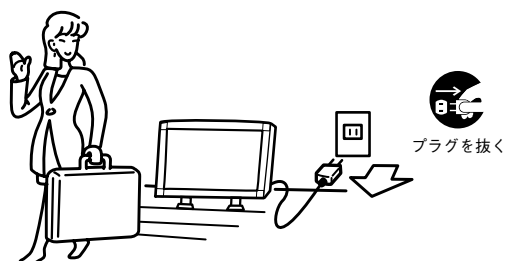
設置のときは次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

<p><b>狭い所に置かない</b></p> 	<p><b>横倒し、伏せ置き、さかさまにしない</b></p> 	<p><b>直射日光や熱器具のそばに置かない</b></p> 
<p><b>布などで通風孔をふさがらない</b></p> 	<p><b>屋外での使用禁止</b></p>  <p>本商品は屋内での使用を想定しています。屋外では使用しないでください。故障の原因となることがあります。</p>	<p><b>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</b></p> 
<p><b>車載用禁止</b></p> <p>車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p> 	<p><b>液晶パネルに衝撃を加えない</b></p> <p>液晶パネル面を固いものでたたいたりして衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因になります。移動する際も、液晶パネルに手などが接触しないようにしてください。</p> 	<p><b>接続線をつけたまま移動しない</b></p> <p>火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線はずしたことを確認のうえ、移動してください。</p> 
<p><b>電源プラグを持って抜く</b></p> <p>コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。</p> 	<p><b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b></p> <p>感電の原因になります。</p> 	
<p><b>電源プラグを奥までさしこむ</b></p> <p>電源プラグは奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。</p> 	<p><b>お手入れの際は電源プラグを抜く</b></p> <p>感電の原因になります。During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.</p> 	
<p><b>液晶パネルを廃棄する場合</b></p> <p>液晶パネルに使用している蛍光管（バックライト）には水銀が含まれています。ご自身で廃棄するのは大変危険ですので、お止めください。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。（P38：本機を廃棄するには）</p>	<p><b>キャビネットの通気口を掃除する</b></p> <p>キャビネットの通気口がごみやほこりでふさがると故障の原因となることがあります。1年に一度はキャビネットの通気口を掃除してください。特に冷却ファンを動作させて使用する場合は、通気口にごみやほこりが付着しやすくなりますので、月に一度以上は、通気口を掃除してください。</p>	

## ⚠️ 注意

長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く



1年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまっ  
たまま使うと、火災や  
故障の原因になります。  
内部掃除は販売店にご  
依頼ください。



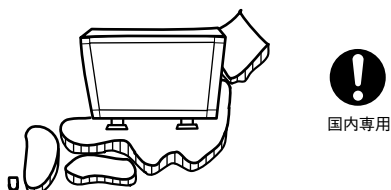
電源プラグのほこりなどは定期的にとる

火災の原因になります。  
1年に一度は電源プラグの  
定期的な清掃と接続を点検  
してください。



## 液晶ディスプレイの上手な使い方

日本国内専用です



この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。  
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。  
またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外で  
はおこなっていません。

キャビネットのお手入れ

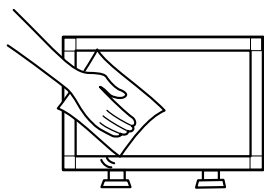


お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふ  
き取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に  
浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

上手な見方

画面の位置は、目から3~5mはなれたいくらいが見やすく目の疲れ  
が少なくなります。  
明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。  
また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

液晶パネルのお手入れ



液晶パネルの表面にほこりや汚れがついているときは、柔らかい布  
でやさしく拭いてください。表面は傷つきやすいので硬いものでこ  
すったり、叩いたりしないでください。また、液晶パネルは壊れや  
すいので強く押ししたり、強い力を加えたりしないでください。  
パネルの表面が変色したり、変質するなどの原因となりますので、  
OAクリーナーは使用しないでください。

キャビネットを傷めないために



キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジ  
ンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリー  
ナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹼などでふいたり、殺虫剤  
をかけたりしないでください。変質したり、塗料がはげる原因とな  
ります。(化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってくだ  
さい。) また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままに  
しないでください。キャビネットが変色したり、変質するなどの原  
因となります。

## ⚠️ 重要なお知らせ

残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。  
残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同  
じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。

「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

また、ディスプレイを使用しないときは、パワーマネージメント機能（パワーセーブ）やスケジュール機能を使ったり、ワイヤ  
レスリモコンや電源ボタンを操作して電源を切ることをおすすめします。

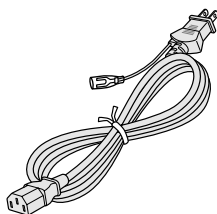
### 3. 付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。

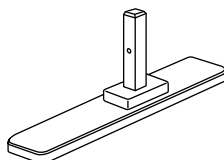
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご確認ください。

自立スタンド付でご使用される場合は、梱包箱の上部天面に記載の開梱方法要領に従って自立スタンドを取り付けください。

- 電源コード
- 信号ケーブル
- 取扱説明書（本書）
- ワイヤレスリモコン
- 単3形乾電池 x 2
- クランプ x 3
- ネジ（M4 x 8）x 4
- 保証書（梱包箱に貼り付けてあります。）
- NEC サービス窓口のご案内
- ユーティリティーディスク
- フェライトコア x 2
- バンド x 2
- スピーカー端子変換コネクタ1組（赤、白）
- 自立スタンド x 2
- 自立スタンド摘み付きネジ（M5）x 2
- 主電源スイッチカバー



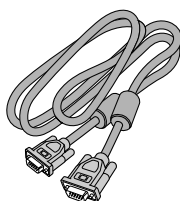
電源コード



自立スタンド x 2 (P12)



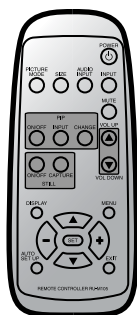
自立スタンド摘み付きネジ x 2 (P12)



信号ケーブル  
ミニD-SUB15ピン-ミニD-SUB15ピンケーブル  
(アナログ接続用) (P17,18)



取扱説明書（本書）



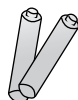
ワイヤレスリモコン



ネジ x 4  
(転倒防止、電源コードおよび  
主電源スイッチカバー固定用)  
(P10,12,15)



スピーカー端子変換コネクタ1組（赤、白）  
※ 市販の汎用スピーカーをお使いのとき、  
スピーカーのリード端子が合わない  
事があります。  
その場合に、ご使用ください。  
(P14)



単3形乾電池 x 2  
(P10)



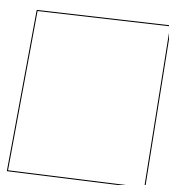
クランプ x 3  
(転倒防止および  
電源コード固定用)  
(P10,15)



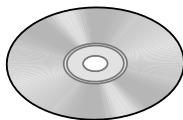
主電源スイッチカバー  
(P12)



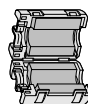
保証書



NECサービス窓口のご案内



ユーティリティーディスク  
テストパターンおよびセットアップ用  
Windows®95/98/Me/2000/XP対応  
(P24,25,30)



フェライトコア x 2  
(ノイズ防止用)  
(P13)



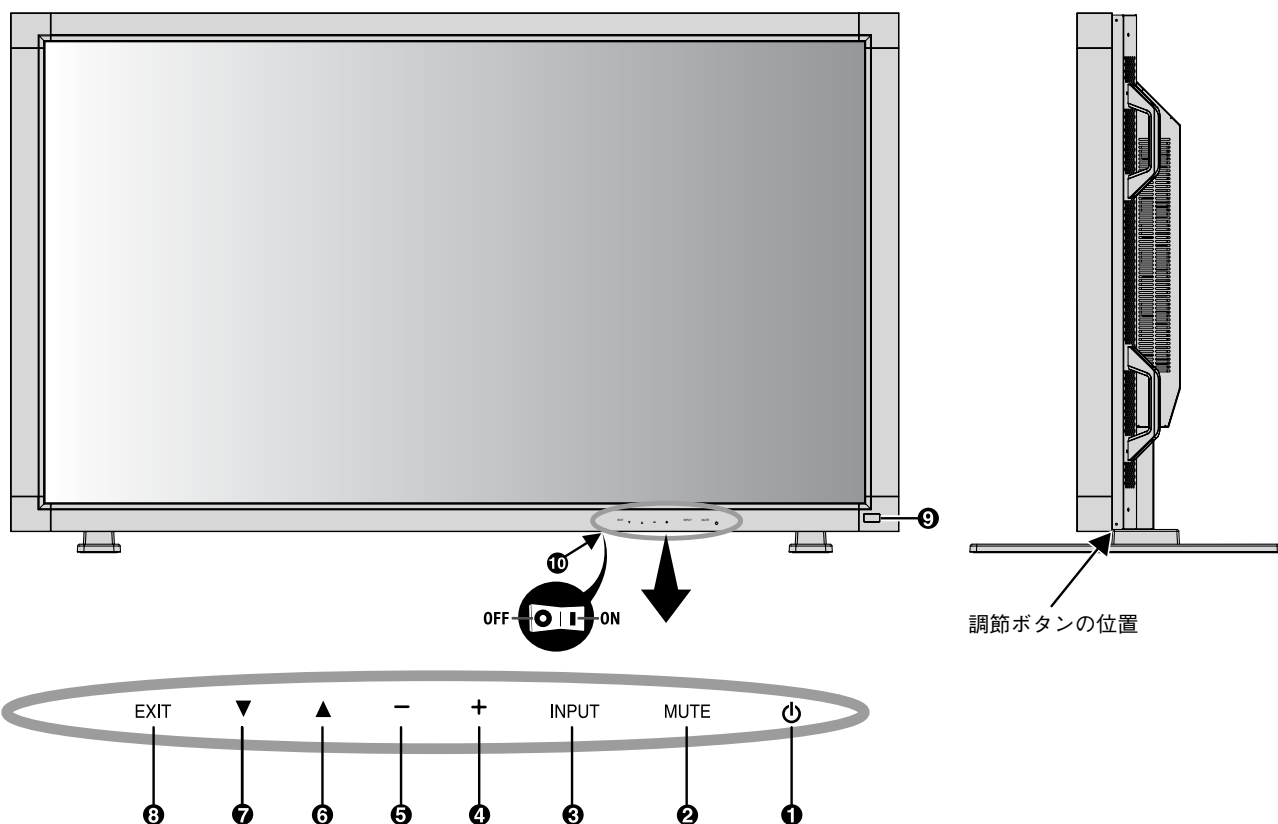
バンド x 2  
(ノイズ防止用)  
(P13)

#### お願い

運搬する場合は、ディスプレイが入っていた梱包箱と緩衝材をご使用ください。

## 4. 各部の名称

### 前面パネル



#### ① 電源ボタン (⏻)

電源を入/切するときに押します。

#### ② ミュートボタン (MUTE)

音を消します。もう一度押すと音がでます。

#### ③ 入力切替ボタン (INPUT)

映像入力を切り替えます。

[RGB1], [RGB2], [RGB3], [DVD/HD], [VIDEO] または [VIDEO<S>]\* の順に切り替わります。

\*: S 映像ケーブルの接続状況によります。

S 端子モード「S 独立」の場合 : [RGB1], [RGB2], [RGB3], [DVD/HD], [VIDEO], [VIDEO<S>] の順に切り替わります。

(☞ P31)

OSD 画面表示時には、OSD 画面で調節した内容を決定します。  
(OSD 画面表示時は、リモコンの SET ボタンと同じ機能になります。  
(☞ P26)

#### ④ プラスボタン (+)

OSD 画面で調節項目を選択したあと、このボタンを押して好みの画面に調節します。

OSD 画面が消えているときは、音量を大きくします。

#### ⑤ マイナスボタン (-)

OSD 画面で調節項目を選択したあと、このボタンを押して好みの画面に調節します。

OSD 画面が消えているときは、音量を小さくします。

#### ⑥ アップボタン (▲)

OSD 画面を表示します。OSD 画面が表示されているとき ▲ ボタンで調節項目を選択します。

#### ⑦ ダウンボタン (▼)

OSD 画面を表示します。OSD 画面が表示されているとき ▼ ボタンで調節項目を選択します。

#### ⑧ EXIT ボタン (EXIT)

OSD 画面が表示されていないときに押すと、OSD 画面を表示します。

OSD 画面が表示されているときは、ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

#### ⑨ リモコン受光部/電源ランプ

リモコン受光部：ワイヤレスリモコンの信号の受光部です。

電源ランプ 電源ボタン入：緑色点灯

電源ボタン切：赤色点灯

パワーマネージメント時：緑色と赤色が同時点灯

主電源スイッチ切時：消灯

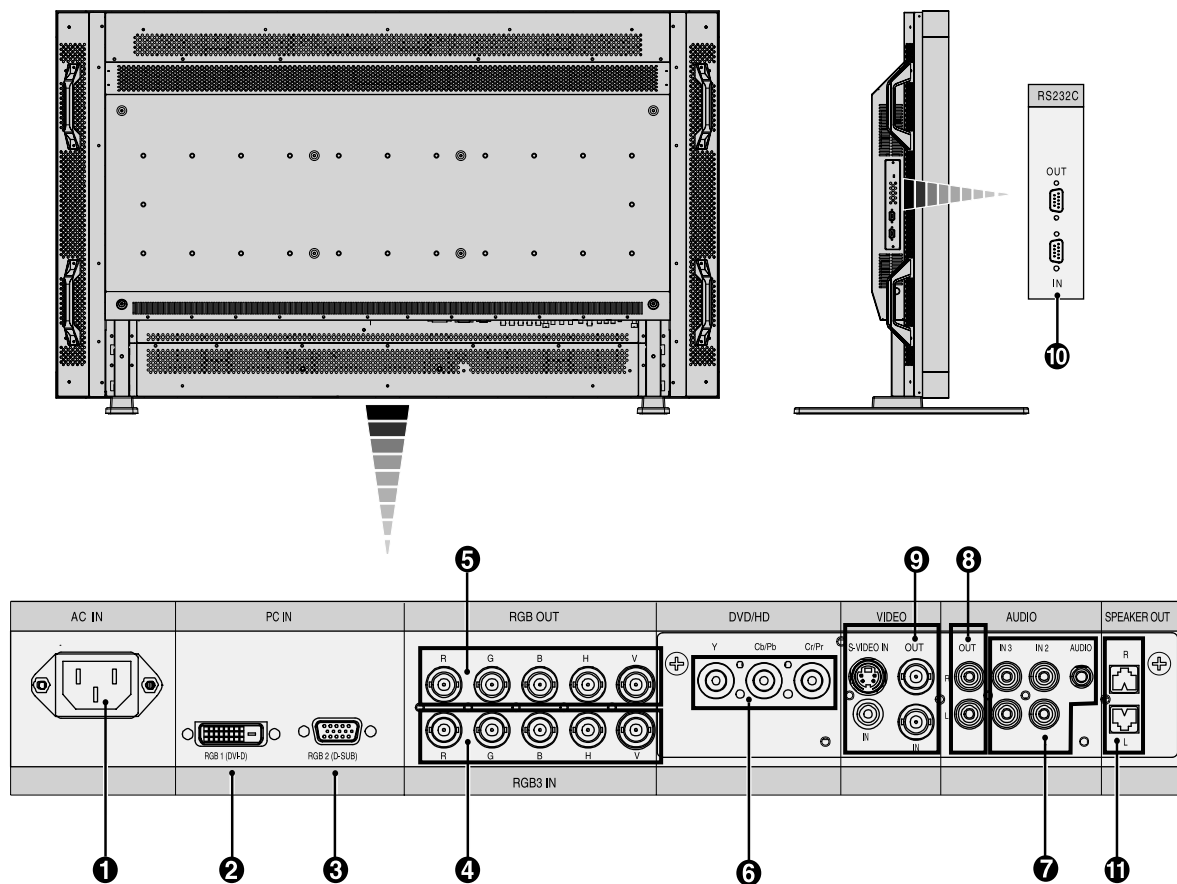
スケジュール待機時：赤色点灯、緑色点滅

異常検出時 (自己診断)：赤色点滅 (☞ P36)

#### ⑩ 主電源スイッチ

主電源を入/切するときに押します。

## 背面パネル



### ① 電源入力コネクタ (3 極アース端子付き)

電源コードを接続します。

### ② RGB1 入力コネクタ (DVI-D)

デジタル出力のコンピューターの映像出力コネクタと接続します。

### ③ RGB2 入力コネクタ (ミニ D-SUB 15 ピン)

アナログ出力のコンピューターの映像出力コネクタと接続します。複合映像同期信号 (シンクオングリーン) にも対応しています。

### ④ RGB3 入力コネクタ (BNC)

アナログ RGB 出力のコンピューターの映像出力コネクタと接続します。複合映像同期信号 (シンクオングリーン) にも対応しています。

### ⑤ RGB 出力コネクタ (BNC)

RGB3(④) から入力された信号を出力します。

### ⑥ DVD/HD 入力コネクタ (BNC)

DVD プレーヤー、レーザーディスクなどを接続します。

### ⑦ オーディオ入力コネクタ

コンピューター、ビデオプレーヤー、DVD プレーヤーなどの音声出力コネクタと接続します。AUDIO1 ~ 3 まであります。

### ⑧ オーディオ出力コネクタ

本体で選択されたオーディオ入力(⑦)と同じ信号を出力します。

### ⑨ ビデオ入出力コネクタ

ビデオ入力コネクタ (BNC, RCA)  
S 端子入力コネクタ (DIN4 ピン)  
ビデオ出力コネクタ (BNC)

### ⑩ RS-232C コネクタ (D-SUB 9 ピン)

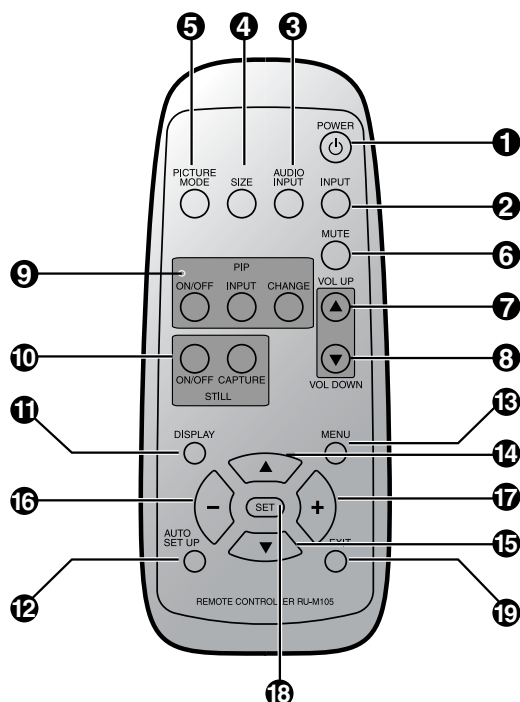
IN には PC またはマルチ接続した LCD5710 の RS-232C (OUT) を接続します。

### ⑪ スピーカー出力コネクタ

オプション外部スピーカーを接続します。  
(P14)



## ワイヤレスリモコン

**① 電源ボタン (POWER)**

電源を入/切するときに押します。  
(電源ランプが点灯していないときには動作しません)

**② 入力切替ボタン (INPUT)**

映像入力を切り替えます。  
[RGB1], [RGB2], [RGB3], [DVD/HD], [VIDEO] または [VIDEO<S>]\* の順に切り替わります。  
\*: S 映像ケーブルの接続状況によります。  
S 端子モード「S 独立」の場合 : [RGB1], [RGB2], [RGB3], [DVD/HD], [VIDEO], [VIDEO<S>] の順に切り替わります。  
(☞P31)

**③ 音声入力切替ボタン (AUDIO INPUT)**

音声入力を各映像入力毎に切り替えることができます。  
[AUDIO1], [AUDIO2], [AUDIO3] の順に切り替わります。

**④ サイズボタン (SIZE)**

画面表示サイズを[FULL], [WIDE], [ZOOM], [NORMAL] から選択します。(☞P23)

**⑤ 映像モード切替ボタン (PICTURE MODE)**

ピクチャーモードを選択します。  
RGB1, 2, 3 入力時 : HIGHBRIGHT, STANDARD, sRGB の 3 モードから選択できます。  
DVD/HD, VIDEO 入力時 : HIGHBRIGHT, STANDARD, CINEMA の 3 モードから選択できます。

**⑥ ミュートボタン (MUTE)**

音を消します。もう一度押すと音がでます。

**⑦ 音量調節プラスボタン (VOL UP)**

音量が大きくなります。

**⑧ 音量調節マイナスボタン (VOL DOWN)**

音量が小さくなります。

**⑨ 子画面選択ボタン (PIP) (☞P29,P34)**

ON/OFF ボタン : PIP, POP および Side by Side 機能を ON/OFF します。

INPUT ボタン : 子画面を選択します。

CHANGE ボタン : 親画面と子画面を入れ替えます。

**【お知らせ】**

1080i 信号には対応していません。1080i 信号入力時、子画面はブランク画面になります。

1080p 信号には対応しています。

**【ミニ解説】**

PIP : Picture In Picture

通常画面内に子画面を表示する機能です。

POP : Picture Out Picture

通常画面外の右下に子画面を表示する機能です。

Side by Side (アスペクト) : 親画面と子画面を等分し、縦横比を変えずに表示する機能です。

Side by Side (フル) : 親画面と子画面を等分し、画面いっぱいに表示する機能です。

**⑩ 画面静止ボタン (STILL)**

ON/OFF ボタン : スチル機能を ON/OFF します。

CAPTURE ボタン : 画面を静止させます。

**【お知らせ】**

1080i 信号には対応していません。1080i 信号入力時、子画面はブランク画面になります。

1080p 信号には対応しています。

\* ドットクロックが 108MHz 以上の信号には対応していません。

**⑪ DISPLAY ボタン (DISPLAY)**

画面情報を表示します。(☞P23)

リモコンモード (☞P32,P34) を NORMAL 以外に設定した場合は、DISPLAY ボタンを 5 秒以上押し続けると NORMAL 状態に戻ります。

**⑫ AUTO SETUP ボタン (AUTO SETUP)**

オートセットアップメニュー画面を表示します。

**⑬ MENU ボタン (MENU)**

OSD 画面を ON/OFF します。

**⑭ アップ ボタン (▲)**

OSD 画面が表示されているとき ▲ ボタンで調節項目を選択します。PIP 機能が選択されているときは、▲ ボタンで子画面を上へ動かします。

**⑮ ダウン ボタン (▼)**

OSD 画面が表示されているとき ▼ ボタンで調節項目を選択します。PIP 機能が選択されているときは、▼ ボタンで子画面を下へ動かします。

**⑯ マイナスボタン (-)**

OSD 画面で調節項目を選択したあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。

PIP 機能が選択されているときは、子画面を左へ動かします。

**⑰ プラスボタン (+)**

OSD 画面で調節項目を選択したあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。

PIP 機能が選択されているときは、子画面を右へ動かします。

**⑱ SET ボタン (SET)**

OSD 画面で調節した内容を決定します。

**⑲ EXIT ボタン (EXIT)**

ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

# 5. 設置および操作要領

## 1. 設置

設置する前に、以下の注意事項をお読みになり、正しく安全に設置してください。

### ❶ 注意

設置する際は、お買い上げの販売店までご相談ください。

### ❷ 注意

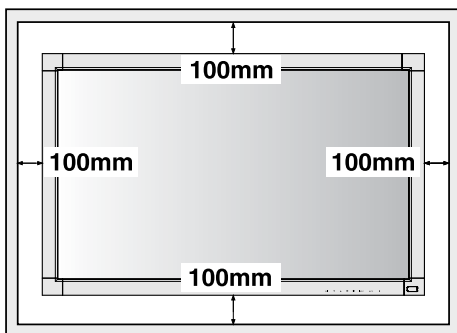
本機ディスプレイの重さは約 66.0kg があるため、移動や設置および取り付けの際は、十分な安全を確保できる人数（必ず 4 名以上）でおこなってください。  
落下してけがの原因となることがあります。

### ❸ 注意

本機の保証環境温度は 40℃ です。ケース等に入れて使用される場合は、ケース内部の温度が 40℃ 以下となるよう、ケースにファンを取り付ける、通風口を設けるなどの処置をおこなってください。  
なお、本機は温度センサーおよび冷却ファンを内蔵し、本体内部の保証温度を超えると自動的に冷却ファンが動作します。また、冷却ファンが動作しても保証温度を超える環境になると「警告」が表示されます。「警告」が表示された環境での使用は故障の原因となりますので、電源を切ってください。

## 据付条件


熱がこもるのを防ぐため、狭い場所（壁埋め込みなど）に設置する場合は、ディスプレイの周囲を下図のように空間を設けてください。




### ❶ 注意

本機の保証環境温度は 40℃ です。ケース等に入れて使用される場合は、ケース内部の温度が 40℃ 以下となるよう、ケースにファンを取り付ける、通風口を設けるなどの処置をおこなってください。

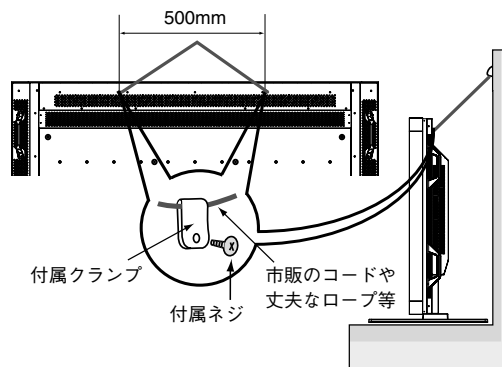
## 冷却ファン

本機内蔵の冷却ファンは動作保証温度を超えると自動的に動作するほかに、スクリーンセーバー機能（ P30）で常時動作するよう設定することができます。

ケース内の設置や、液晶画面の表面にアクリル板などをつけてご使用になる場合は本機の内部温度上昇を HEAT STATUS 機能（ P33）で確認の上、必要に応じて冷却ファンの動作設定を変更してください。

## 転倒防止のために

転倒防止のために、コードや丈夫なロープなどを用いてディスプレイを固定してください。固定には付属のクランプを付属のネジでディスプレイにしっかりと締めつけてください。  
ディスプレイを十分に保持できる壁や柱などに、しっかり固定してください。  
コードや丈夫なロープはディスプレイの重さ（約 66.0kg）に耐えられるものをご使用ください。



### ❶ 注意

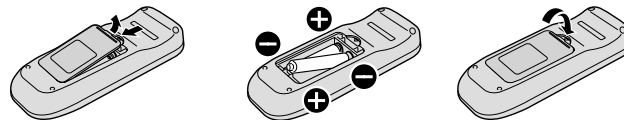
ディスプレイを移動する前にコードや丈夫なロープをとりはずしてください。けが、故障の原因になります。

## 2. リモコンに電池を入れる

単 3 形乾電池 2 つが必要です。

下図に従って電池を入れてください。

- ❶ ふたを矢印のように押し
  - ❷ ケース内部の表示通りに
  - ❸ ふたを元に戻す
- ながら引き上げる  
＋を合わせて入れる



### ❶ 注意

乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破れつすることがありますので、次の点について特にご注意ください。

- 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れがありますのですぐ取り出してください。  
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

### お知らせ

- 付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管しておいてください。

### 3. 外部機器を接続する

- ・接続する外部機器を保護するため、接続の際には電源を切ってください。
- ・接続する機器のそれぞれの取扱説明書に従って接続してください。

### 4. 電源コードを接続する (P15)

- ・コンセントは電源プラグが抜きやすい位置にあることを確認してください。
- ・アースリード線を接地（アース接続）してから電源プラグをAC100V電源コンセントに接続してください。
- ・アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
- ・電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な接続は火災の原因となります。
- ・電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。
- ・AC100V以外（最大AC240V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- ・表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

### 5. すべての機器の電源を ON にする

コンピューターを接続した場合はコンピューターの電源を先に入れます。

### 6. 外部機器を操作する

接続した外部機器の映像を画面に映します。

### 7. 入力モードを選ぶ

表示したい外部機器が接続されている入力端子を選びます。

### 8. 音量を調節する

必要に応じて、音量を調節します。

### 9. 画面を調節する

必要に応じて、画面位置や文字のにじみ等を調節します。

### 10. 映像を調節する

必要に応じて、ブライトネスやコントラストなどの映像調節をします。

### 11. 長くお使いいただくために

液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があり、バックライトの明るさは使用時間に応じて低下します。

また、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る「残像」という現象が発生する場合があります。

残像は画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えにくくなります。本機を長くご使用いただくために、次の点にご注意ください。

- 使用していないときは本機の電源を切ってください。
  - ・本機またはリモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
  - ・パワーセーブ機能 (P29) を「ON」に設定してください。信号が入力されないときに自動的にパワーセーブモードに切り替わります。工場出荷時は「ON」に設定されています。
  - ・スケジュール機能 (P30, 35) を使用して、使用する時間に合わせて自動的に電源を入/切ってください。

#### お知らせ

スケジュール機能を使用する場合は必ず日付/時刻設定 (P33) をおこなってください。

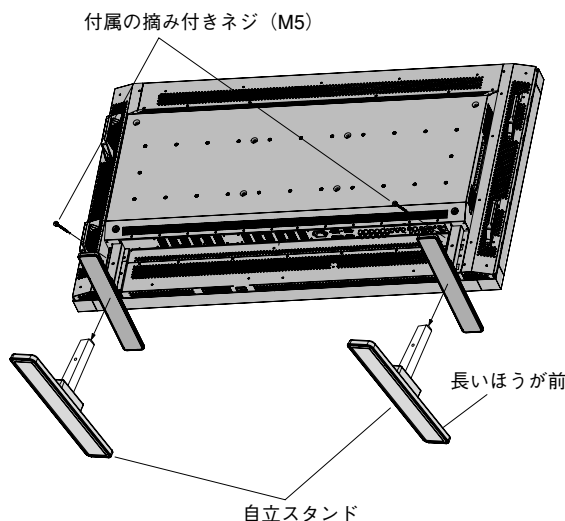
- 液晶パネルにかかる負担を軽減するため、スクリーンセーバー機能 (P30) を使用してください。

## 12. 自立スタンドを取り付ける場合

#### ① 注意

スタンドの取り付けの際は、十分な安全を確保できる人数（必ず4名以上）でおこなってください。落下してけがの原因となることがあります。

- ① ディスプレイをマットや毛布など柔らかいものの上に置きます。
- ② 左右の自立スタンドを長いほうが前になるようにガイドフレームの奥まで差し込みます。
- ③ 各自立スタンドを付属の摘み付きネジでしっかりと締め付けて固定します。



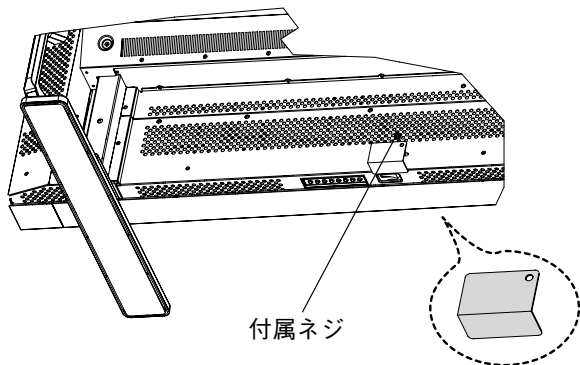
#### ① 注意

機器の内部を破損する可能性がありますので、市販品のネジでスタンドを固定される時にネジの長さが35mm以上になるものは使用しないでください。

スタンドは必ず長いほうが前になるように取り付けてください。スタンド取り付け時、本体とスタンドの間に手を挟まないように注意してください。

### 13. 主電源スイッチカバーを取り付ける場合

主電源スイッチを覆うように付属の主電源スイッチカバーを取り付け、ネジで固定します。



#### ❗ 注意

主電源スイッチカバーを取り付けると、主電源スイッチの入/切操作はできません。

### 14. ディスプレイを壁掛けや天吊りとして使用する場合

#### ❗ 注意

お客様による壁掛けや天吊りの設置は絶対におやめください。壁掛けや天吊りの設置はお買い上げ販売店か工事専門業者にご依頼ください。

#### ❗ 注意

壁掛けや天吊りの設置をする前に、“壁掛け・天吊り時の注意事項 (P42)”をお読みになり、正しく安全に設置してください。

1. 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷きます。
2. ディスプレイをその上に置きます。
3. 自立スタンドを装着されている場合は、ネジ廻しで各スタンドのネジを取りはずします。はずしたネジやスタンドは大切に保管してください。
4. 壁掛けや天吊りとして使用する場合は、必ずVESA規格に準拠した取付金具を使用してください。  
また、取り付けにはM8ネジ（長さは取付金具の板厚 + 15mm）を使用し、しっかりと締めてください。  
（締付トルク 1125～1375N・cm）

#### お願い

市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約66.0kgです）  
本体背面の取付穴を使用し、ネジでしっかりと固定してください。

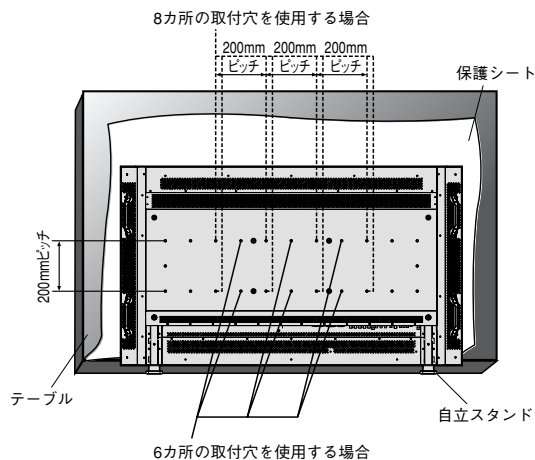
取付穴は背面に24個あります。取り付けの際は上下左右均等に取付けてください。（下記参照ください）

6カ所取付穴ピッチ（ヨコ）2 x 200mm ピッチ x（タテ）200mm

8カ所取付穴ピッチ（ヨコ）3 x 200mm ピッチ x（タテ）200mm

#### ❗ 注意

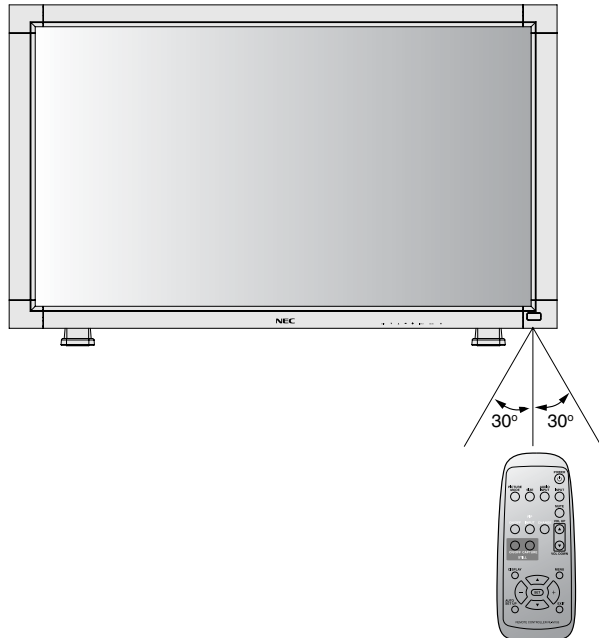
取付方法の詳細は、市販の壁掛けや天吊り金具の取扱説明書を参照ください。



### リモコンの使用範囲

リモコンの操作をするときは本機のリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。

リモコンは、ディスプレイ正面から7m以内、左右30°では3.5m以内でご使用ください。



#### お知らせ

太陽の直射日光や強い光の当たるところ、または、蛍光灯の近くでは、リモコン操作がきかない場合があります。


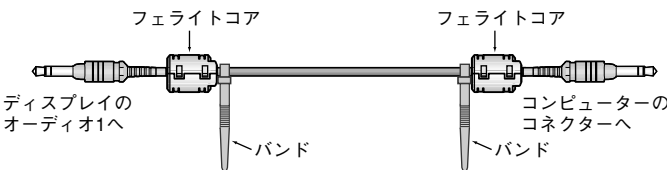
#### お願い

- ・ 強い衝撃を与えないでください。
- ・ 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・ 熱やスチームなどにあてないでください。

## 6. 接続

### 接続する前に

- ・ コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。
- ・ それぞれの機器の取扱説明書を参照ください。
- ・ 情報処理装置電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置の基準を満足させるために、必ずコンピューターから接続するオーディオケーブルへは図のように付属品のフェライトコアを装着してください。

フェライトコアの取付方法	フェライトコアの取付位置
<p>コンピューターからのオーディオケーブル（別売）に付属のフェライトコアを取り付けます。 フェライトコアを取り付けないと、ノイズが発生することがあります。</p> <p>・ コンピューターからのオーディオケーブル</p> <p><b>1</b> 図のようにオーディオケーブルに <b>2</b> フェライトコアを閉じてフェライトコアを取り付けます。</p> <p>フェライトコア</p> 	<p>フェライトコアはオーディオケーブル両端のコネクター近くへ取り付けてください。</p>  <p>フェライトコア</p> <p>フェライトコア</p> <p>ディスプレイのオーディオ1へ</p> <p>コンピューターのコネクターへ</p> <p>バンド</p> <p>バンド</p>

#### お知らせ

接続するオーディオ機器やコンピューターの音声出力端子の形状がステレオミニジャックの場合は、オーディオケーブルは抵抗なしを使用ください。

抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音が出ない場合があります。

## オプションスピーカーを接続する

- オプション販売の専用スピーカーを取り付けることができます。  
詳しい取り付け方法は、専用スピーカーに添付している説明書をご覧ください。

### 1 専用金具でスピーカーを、本機に取り付ける

金具と固定用ネジは専用スピーカーに付属されているものをご使用ください。

### 2 スピーカーコードの一方の端を、本機のスピーカー出力コネクタに差し込む

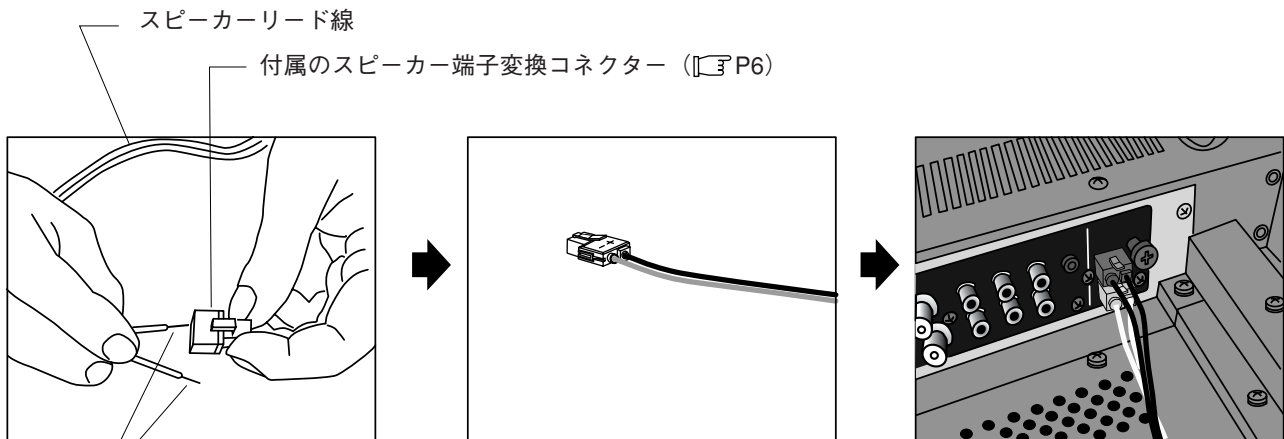
左側スピーカーリード線は本機のスピーカー出力端子（L）へ、右側スピーカーリード線は本機のスピーカー出力端子（R）へ差し込んでください。

#### お知らせ

本機のスピーカー出力端子は専用コネクタです。一般の市販スピーカーのリード線では接続できません。市販スピーカーをご使用される場合は、付属のスピーカー端子変換コネクタ（P6）をお使いください。

#### お願い

- 市販のスピーカーをご使用される場合は、インピーダンス8Ω、定格入力7W以上のものをお使いください。それ以外のものを使用すると故障の原因となります。



市販スピーカーのコネクタを外した後にリードの先端の絶縁被覆を剥いてレバーを押しながら変換コネクタに差し込んでください。プラスマイナスを正しく接続してください。

## 電源を接続する

### お願い

- 電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。(5.0A以上必要です。)
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。

## 1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む

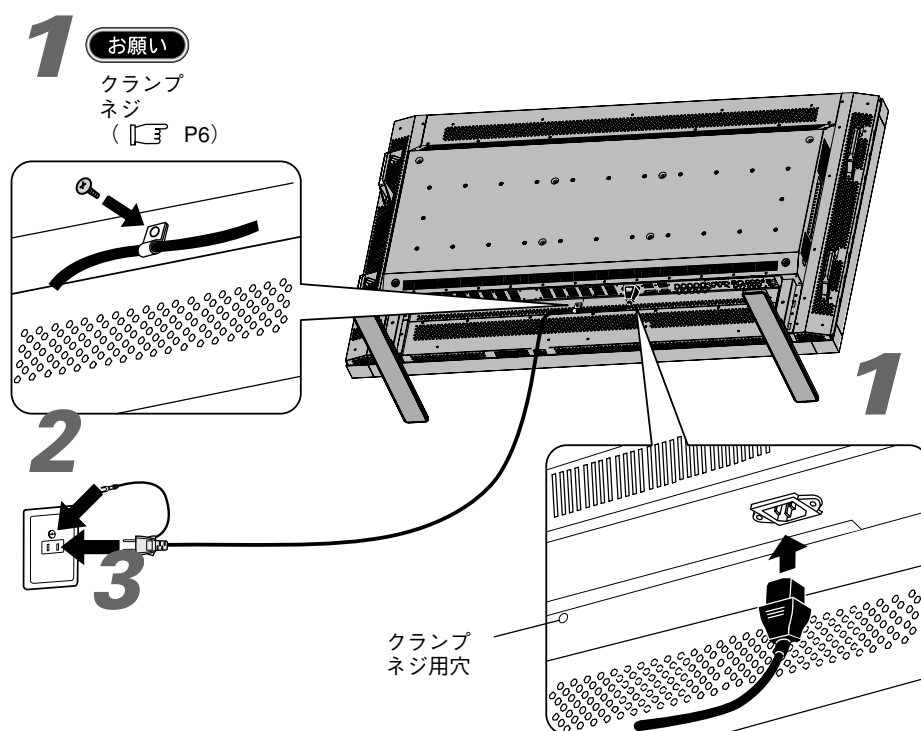
奥までしっかり差し込んでください。

### お願い

- 電源コードは付属品のクランプとネジで固定して、本体の電源入力コネクタから容易に抜けないようにしてください。

## 2 アースリード線を接地（アース接続）する

## 3 電源プラグを AC100V 電源コンセントに接続する



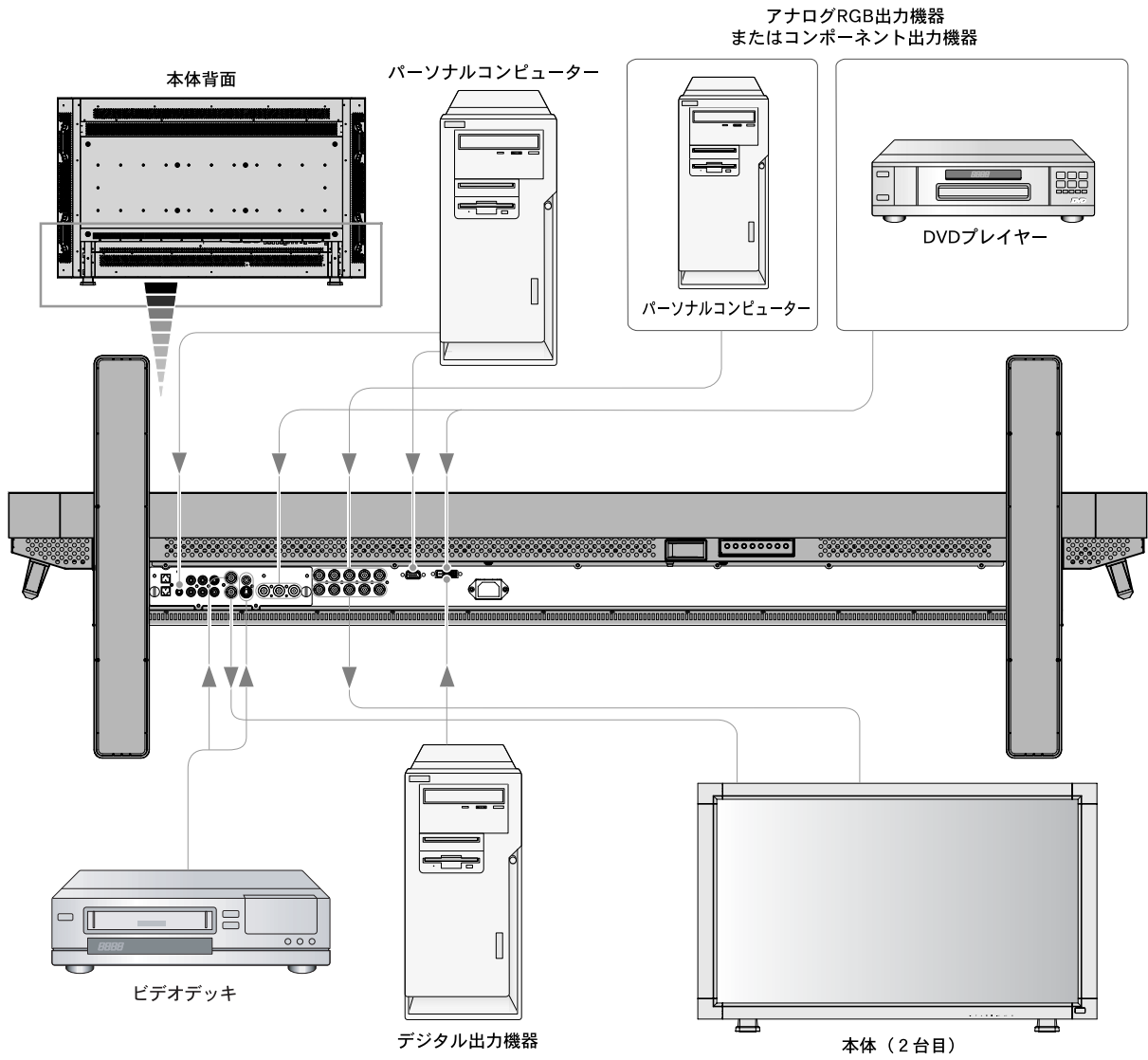
## ⚠ 警告

- ・ 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- ・ 本機には一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- ・ 電源プラグのアースリード線は必ず接地（アース）してください。  
 なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。  
 また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- ・ 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

### お願い

- 電源コンセント周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。  
 This socket-outlet shall be installed the equipment and shall be easily accessible.

## 簡単接続図





## コンピューターとの接続

本機はコンピューターのディスプレイとして使うことができます。

下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると自動的に適切な画面を表示します。

＜工場プリセットタイミング＞

	解像度	走査周波数		備考
		水平	垂直	
1	640x480	31.5kHz	60Hz	
2	800x600	37.9kHz	60Hz	
3	1024x768	48.4kHz	60Hz	
4	1280x768	48.0kHz	60Hz	
5	1360x768	48.0kHz	60Hz	
6	1280x1024	64.0kHz	60Hz	
7	1600x1200	75.0kHz	60Hz	
8	1920x1080	67.5kHz	60Hz	推奨信号タイミング

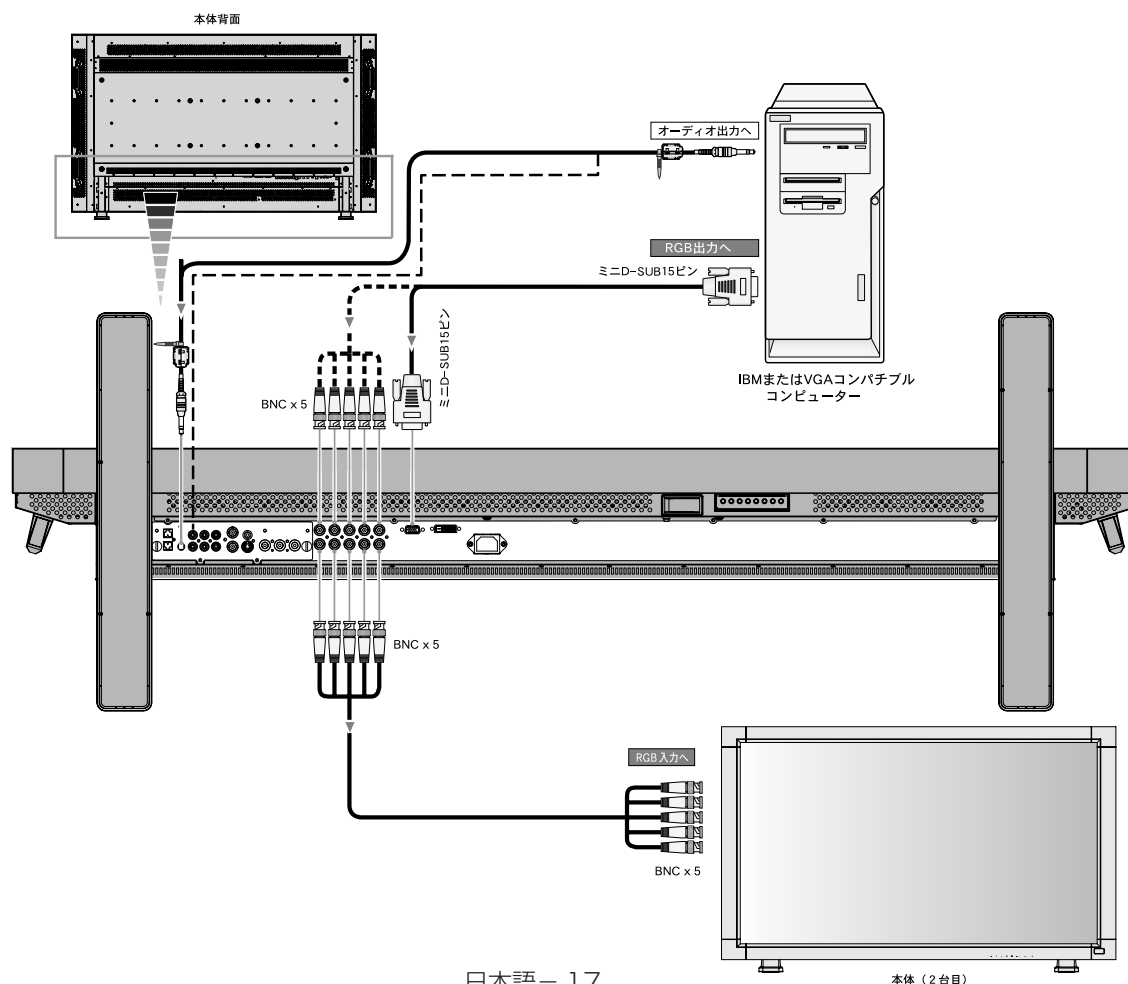
### お知らせ

入力される信号の解像度によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。また、ドットクロックが165MHz以上の信号に対しては、映像を正しく表示することができない場合があります。

1600×1200は簡易圧縮表示となります。

- ・ RGB信号ケーブルでRGB2入力コネクタに接続します。(ミニD-SUB15ピンーミニD-SUB15ピン)(同梱品)
- ・ 本機をRGB3入力コネクタ(BNC)に接続する場合、信号ケーブル(ミニD-SUB15ピンーBNCx5)(別売)を使います。INPUTボタンでRGB3を選択します。  
2台目のディスプレイを接続する場合は、RGB出力端子(BNC)と接続します。(RGB3の信号が出力されます)
- ・ オーディオ入力は音声入力切替ボタンで音声1,2または3を選択します。
- ・ 2台目の液晶ディスプレイに音声を出力する場合は、本機のオーディオ出力コネクタに接続してください。



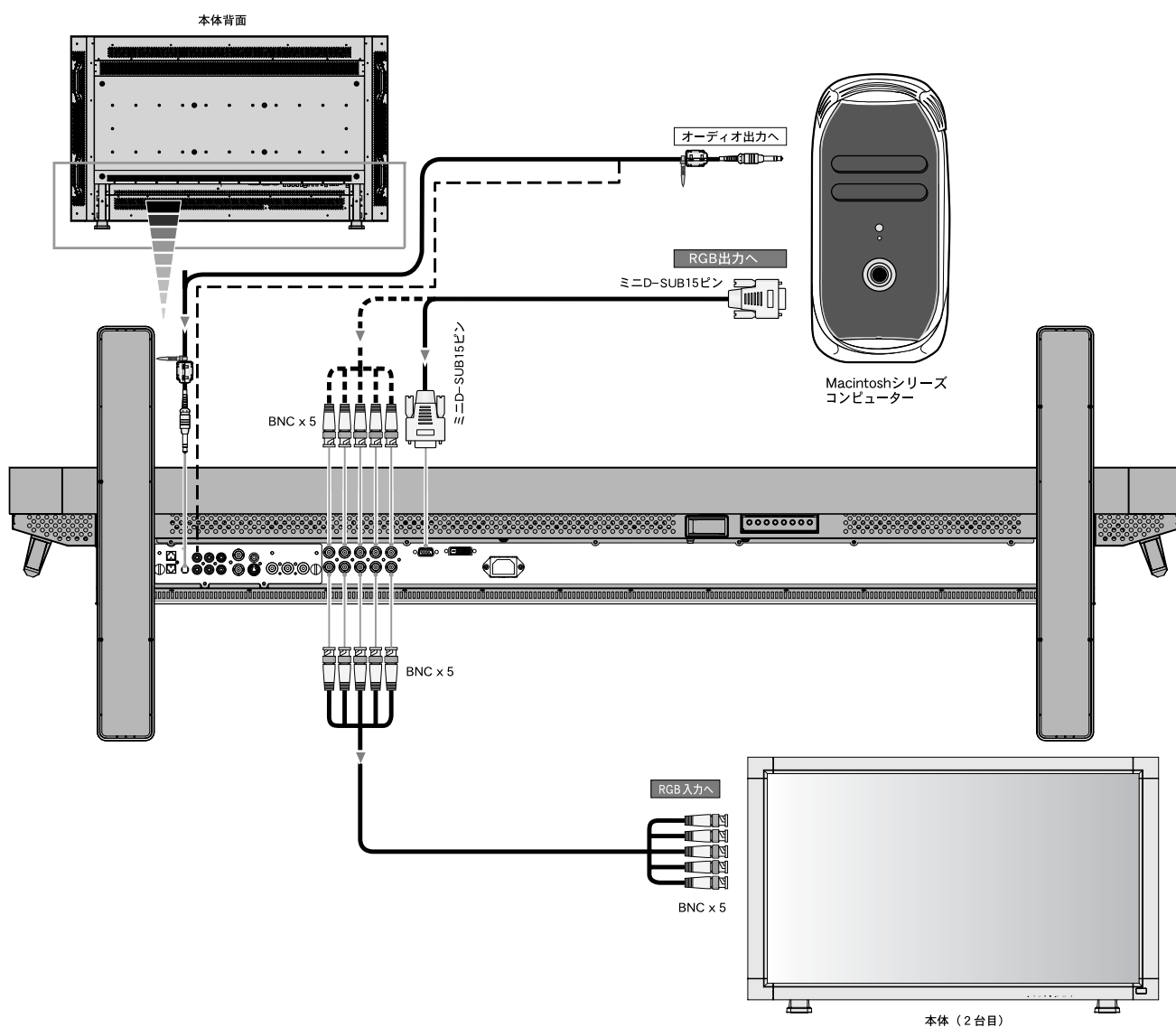
## Apple Macintosh シリーズコンピュータとの接続

Apple Macintosh シリーズコンピュータに接続して使用することができます。ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

- ・ 信号ケーブル(ミニ D-SUB15 ピンーミニ D-SUB15 ピン)(同梱品) を使って RGB2 入力コネクタ(ミニ D-SUB15 ピン)に接続します。  
G3 シリーズより古い Macintosh を使用する場合は、変換アダプターが必要です。

### お知らせ

- マッキントッシュ変換アダプターについては販売店へご相談ください。
- ・ 本機を RGB3 入力コネクタ(BNC)に接続する場合、信号ケーブル(ミニ D-SUB15 ピンー BNCx5)(別売) を使います。
- ・ Macintosh PowerBook を使用する場合は“Mirroring”を off にしてください。  
詳しくは Macintosh の取扱説明書を参照ください。
- ・ オーディオ入力は音声入力切替ボタンで音声 1, 2 または 3 を選択します。
- ・ 2 台目の液晶ディスプレイに音声を出力する場合は、本機のオーディオ出力コネクタに接続してください。



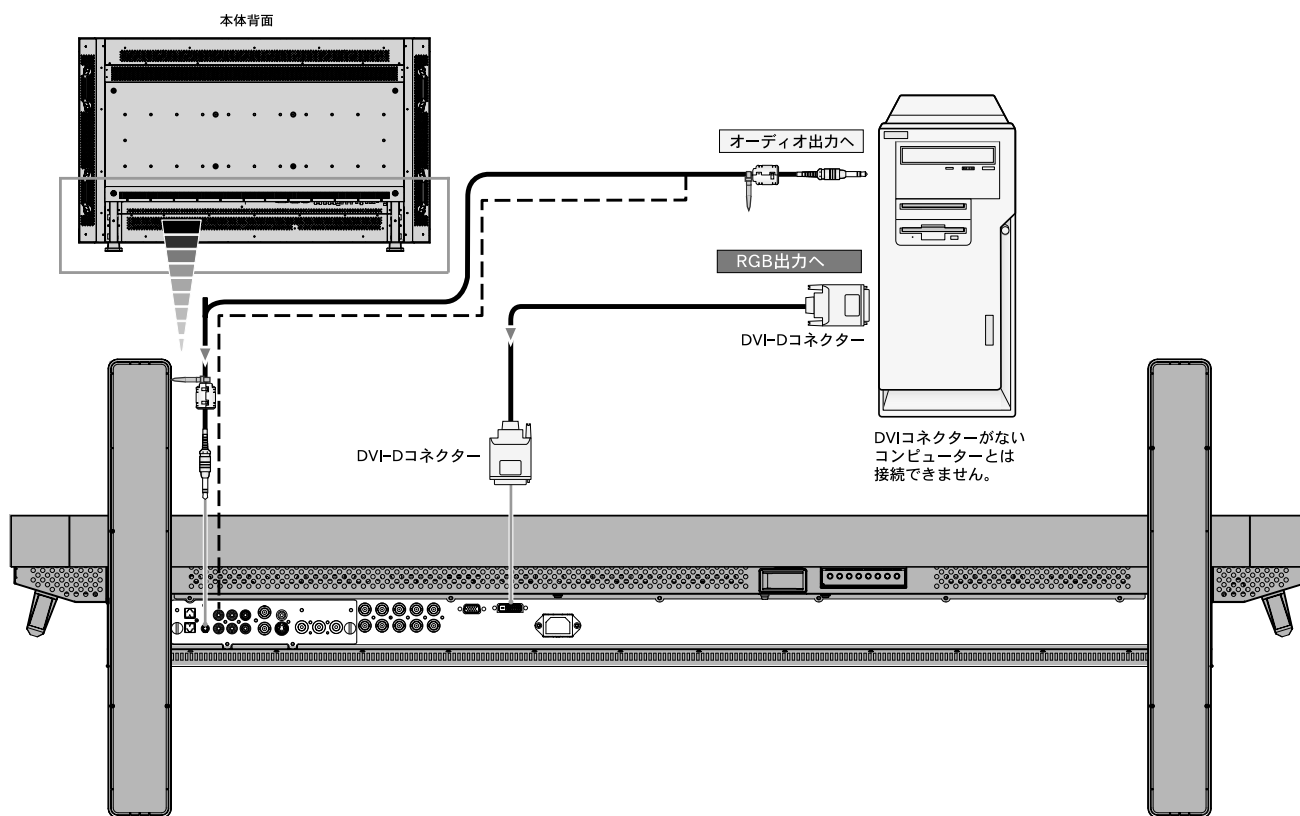
## デジタル出力機器との接続

DVI コネクターをもったコンピューターに接続して使用することができます。  
ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

- ・ RGB 1 入力コネクターは DVI-D ケーブル（別売）と接続します。
- ・ DVI<sup>\*1</sup> 規格の TMDS<sup>\*2</sup> に対応しています。
- ・ オーディオ入力は音声入力切替ボタンで音声 1,2 または 3 を選択します。

### 【ミニ解説】

- ※ 1 DVI : Digital Visual Interface  
 DVI-A : アナログ RGB 入力のみに対応している DVI 端子  
 DVI-D : デジタル RGB 入力のみに対応している DVI 端子  
 DVI-I : デジタル RGB 入力, アナログ RGB 入力の両方に対応している DVI 端子
- ※ 2 TMDS : Transition Minimized Differential Signaling  
 ※ TMDS は、シリコン・イメージ社の登録商標です。

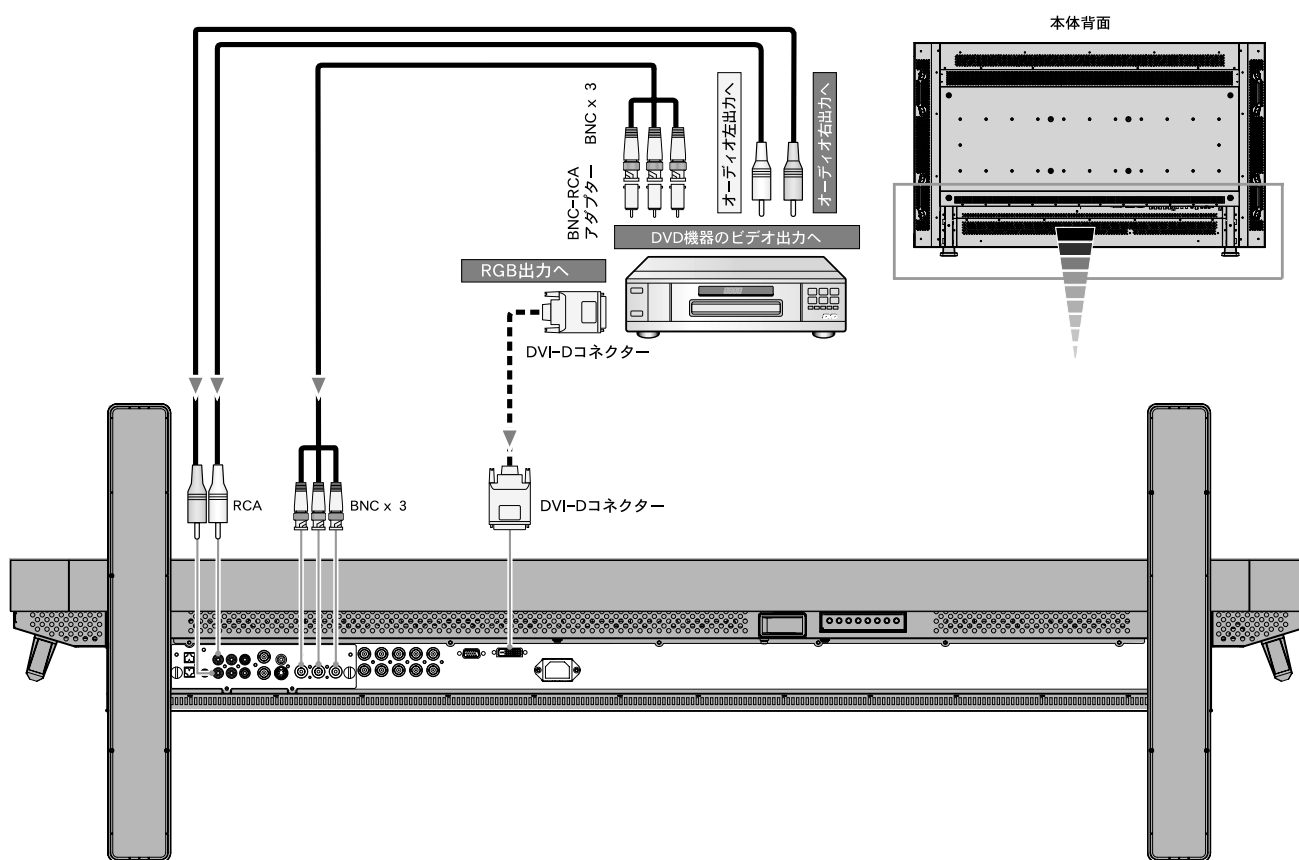


## コンポーネント出力付機器との接続

本機はコンポーネント出力付 DVD プレーヤーなどと接続して使用することができます。

詳しくは、DVD プレーヤーなどの取扱説明書を参照ください。(下図に示す各ケーブルは別売です。)

- コンポーネント出力付 DVD プレーヤーなどを DVD/HD 入力コネクタ (BNC) に接続する場合、BNC コネクタケーブル (BNC-RCA アダプター) を必要とする場合があります。  
INPUT ボタンで [DVD/HD] を選択してください。  
また、DVI 出力付 DVD プレーヤーを接続の場合は、INPUT ボタンで [RGB1] を選択し「DVI モード」を DVI-HD に設定してください。(P31)
- オーディオ入力は音声入力切替ボタンで音声 1,2 または 3 を選択します。

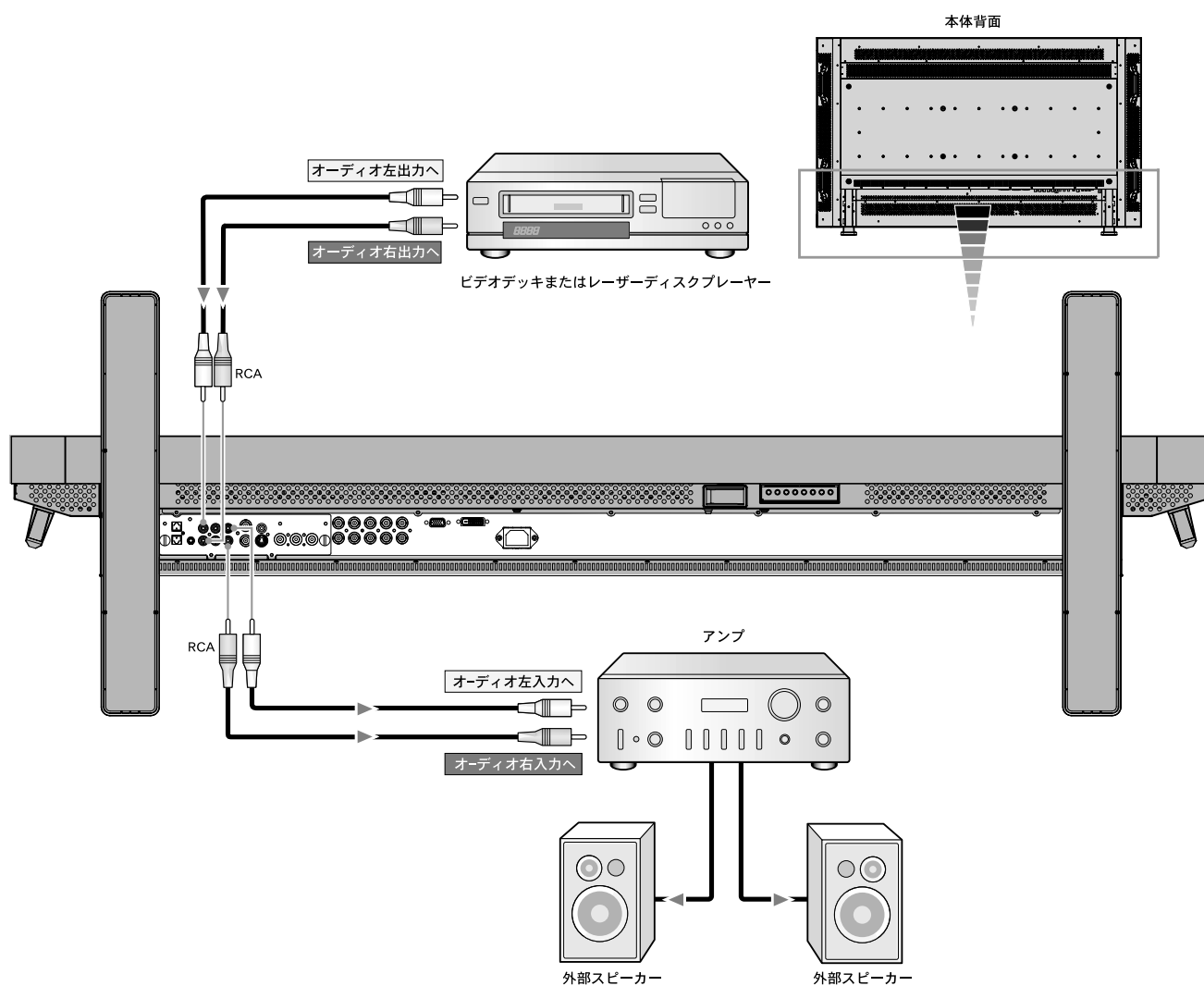


## ステレオアンプとの接続

本機にステレオアンプを接続することができます。

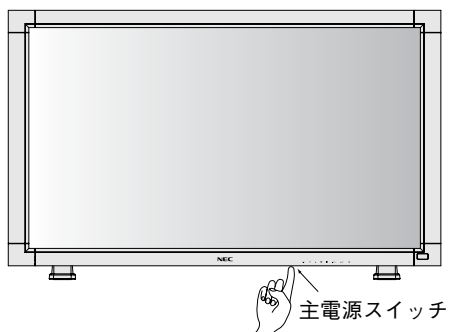
詳しくは、ステレオアンプの取扱説明書を参照ください。(下図に示す各ケーブルは別売です。)

- RCAケーブルを使ってオーディオ出力コネクタに接続します。
- RCAケーブルの左右を正しく接続してください。
- 本機で選択されたオーディオ入力の信号がオーディオ出力コネクタ（P8 ⑧, ⑨）より出力されます。



## 7. 基本操作

### 本機の電源を入れる

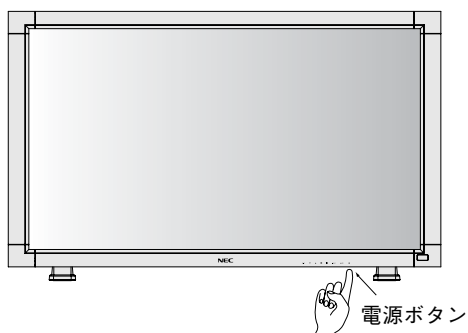


#### 1. 主電源スイッチを入（|）にする

電源ランプ（P7）が赤に点灯します。

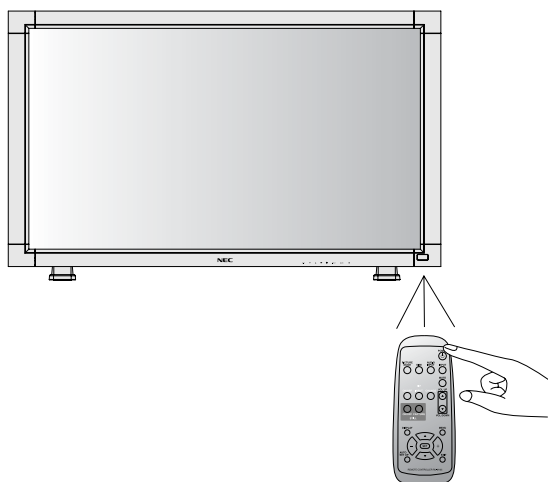
コントロールパネル部の調節ボタンやリモコンは、主電源スイッチが切（○）の状態（電源ランプは消灯）では機能しません。

主電源スイッチが入（|）になっていること（電源ランプは点灯）を確認してから操作してください。



#### 2. 本機の電源ボタン（⏻）を押す または リモコンの電源ボタンを押す


電源ランプは緑色に点灯します。



#### 3. リモコンを使用する または 本機のコントロールパネル部の調節ボタンを使用する

## パワーマネージメント機能

本機の電源を入れたままでも、コンピューターを使用しない時に本機の消費電力を減少させる機能です。

本機の画面が暗くなるとともに電源ランプ（ P7）は緑色と赤色が同時点灯します。

この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合のみ機能します。パワーマネージメント設定（パワーセーブ）の RGB が ON に設定されていることを確認してください。

また、VIDEO を ON にすると、DVD/HD、VIDEO の同期信号が無くなったあと約 10 分後にパワーセーブモードに入ります。

### 【ミニ解説】

DPM : Display Power Management の略です。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	370W	緑色点灯
パワーマネージメントモード	3W以下	緑色+赤色点灯

### お知らせ

- 工場出荷時は「パワーマネージメント設定（パワーセーブ）」を RGB、VIDEO とも ON に設定しています。

## 映像モード切替

- 入力切替ボタンを押して、表示したい機器が接続されている映像入力端子を選びます。
- 海外で購入されたビデオ機器を使用する場合は、カラーシステムメニューよりお使いのビデオ機器の映像信号フォーマット (AUTO, NTSC, PAL, SECAM, PAL60, 4.43NTSC) を選択してください。
- 工場出荷時は AUTO に設定しています。

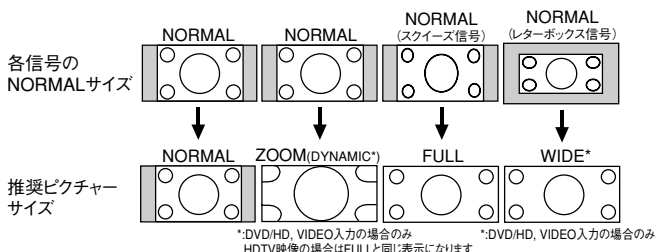
## ピクチャーサイズ

SIZE ボタンで画面サイズを選択することができます。

RGB 1, 2, 3 選択時 FULL → ZOOM → NORMAL

DVD/HD 選択時 FULL → WIDE → ZOOM → NORMAL

VIDEO 選択時 FULL → WIDE → ZOOM → NORMAL



もとの信号と異なる画面サイズで使用したいときは画面に歪みが発生します。

例) 4:3 信号を FULL にした場合は横長画面となります。

### お知らせ

営利目的または公衆に視聴されることを目的として喫茶店、ホテル等においてピクチャーサイズ機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等をおこないますと著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

## ピクチャーモード

PICTURE MODE ボタンでお好みの表示モードを選択することができます。

RGB 1, 2, 3 選択時 HIGHBRIGHT → STANDARD → sRGB

DVD/HD、VIDEO 選択時 HIGHBRIGHT → STANDARD → CINEMA

## インフォメーション

DISPLAY ボタンを押すと、選択されている映像入力端子、音声入力端子、画面サイズ等の情報を表示します。

### RGB 1, 2, 3 選択時

RGB2 1024 x 768 48kHz 60Hz AUDIO : 1 SIZE : FULL	← RGB2 選択時 ← 解像度 ← 水平/垂直周波数 ← 音声情報 ← ピクチャーサイズ
--	---

### DVD/HD 選択時

DVD/HD AUDIO : 3 SIZE : WIDE	← DVD/HD 選択時 ← 音声情報 ← ピクチャーサイズ
------------------------------------	--------------------------------------

### VIDEO 選択時

VIDEO<S> NTSC AUDIO : 3 SIZE : NORMAL	← VIDEO<S> 選択時 ← カラーシステム ← 音声情報 ← ピクチャーサイズ
--	---

### PIP または POP 選択時

親画面 : RGB2

子画面 : VIDEO<S>

RGB2 1024 x 768 48kHz 60Hz AUDIO : 1 VIDEO<S> NTSC SIZE : FULL	← 親画面情報 ← 子画面情報 ← メインピクチャーサイズ
--	-------------------------------------

## コントロールロックモード

ボタンをさわっても調節した画面が変わらないよう操作ボタンをロックする機能です。本体の ▼ と ▲ ボタンを 3 秒以上の間、同時に押すとロックできます。

本体の ▼ と ▲ ボタンを 3 秒以上の間、再度同時に押すとロックを解除します。

## 8. Windows® セットアップ

### Windows® セットアップ

Windows®をお使いの方は、次のそれぞれの方法で付属のユーティリティーディスクからセットアップ情報をコンピューターへインストールしてください。

#### <インストール方法および Windows®95 の設定>

1. Windows®95 を起動します。
  2. 【スタート】をクリックし、【設定】メニューより【コントロールパネル】を選びます。
  3. 【コントロールパネル】内の【画面】のアイコンをダブルクリックすると、【画面のプロパティ】のウィンドウが表示されます。
  4. 【画面のプロパティ】のウィンドウ内の【ディスプレイの詳細】をクリックします。
  5. 【ディスプレイの詳細】のウィンドウ内の【詳細プロパティ】（または【ディスプレイの変更】）をクリックします。
  6. 【ディスプレイの詳細プロパティ】のウィンドウ内に、【アダプタ】と【モニタ】が表示されますので、この内の【モニタ】をクリックし、右側の【変更】をクリックします。（または“ディスプレイの種類”項の【変更】をクリックします。）
  7. 【デバイスの選択】のウィンドウが表示されるので、この中から【ディスク使用】をクリックします。
  8. 【フロッピーディスクからのインストール】のウィンドウが表示されますので、指定のドライブに本ディスプレイに付属されているユーティリティーディスクを入れて、【参照】をクリックします。
  9. ドライブを指定して“WIN\_INF”のフォルダを選択し【OK】をクリックすると、【フロッピーディスクからのインストール】のウィンドウに戻るので【OK】をクリックします。
  10. 【デバイスの選択】のウィンドウに戻るので、【OK】をクリックします。
- ※ コンピューターの機種によっては、お買い上げいただいた当社液晶ディスプレイの商品型名“NEC MultiSync LCD5710”を選択する必要があります。
- ※ RGB1 入力での設定は(Digital)を、RGB2, 3 入力での設定は (Analog)を選択してください。
11. 【ディスプレイの詳細】（または【ディスプレイの変更】）のウィンドウに戻るので、【更新】、【OK】（または【閉じる】）の順にクリックします。
  12. 【画面のプロパティ】のウィンドウ内の【OK】をクリックします。

#### <インストール方法および Windows®98/Me の設定>

1. Windows®98 または Windows®Me を起動します。
  2. 【スタート】をクリックし、【設定】メニューより【コントロールパネル】を選びます。
  3. 【コントロールパネル】内の【画面】のアイコンをダブルクリックすると、【画面のプロパティ】のウィンドウが表示されます。
  4. 【画面のプロパティ】のウィンドウ内の【設定】をクリックします。
  5. 【設定】メニュー内の【詳細】をクリックします。
  6. 【詳細】のウィンドウ内の【モニタ】をクリックします。
  7. 【モニタ】のメニュー内に、【変更】が表示されるのでこれをクリックします。
  8. このとき“デバイスドライバの更新ウィザード”が表示されます。ここで Windows®98 の場合は【次へ】をクリックします。ここで Windows®Me の場合は“ドライバの場所を指定する”をマークし【次へ】をクリックします。
  9. “特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する”をマークします。
  10. 【次へ】をクリックします。
  11. 【ディスク使用】をクリックします。
  12. 【ディスクからインストール】のウィンドウが表示されるので、本ディスプレイに付属されているユーティリティーディスクを入れて、【参照】をクリックします。
  13. ドライブを指定して“WIN\_INF”のフォルダを選択し【OK】をクリックすると、【ディスクからインストール】のウィンドウに戻るので【OK】をクリックします。
  14. フォルダの中から“NEC MultiSync LCD5710”を選択し、【次へ】をクリックします。
- ※ RGB1 入力での設定は(Digital)を、RGB2, 3 入力での設定は (Analog)を選択してください。
15. “次のデバイス用のドライバファイルを検索します”とのメッセージが出るので、【次へ】をクリックします。
  16. “ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされました”と表示された後に【完了】をクリックします。
  17. 【詳細】のウィンドウに戻るので、【適用】、【OK】（または【閉じる】）の順にクリックします。
  18. 【画面のプロパティ】のウィンドウ内の【OK】をクリックします。



### <インストール方法および Windows®2000 の設定>

1. Windows®2000 を起動します。
  2. 【スタート】をクリックし、【設定】メニューより【コントロールパネル】を選びます。
  3. 【コントロールパネル】内の【画面】のアイコンをダブルクリックすると、【画面のプロパティ】のウィンドウが表示されます。
  4. 【画面のプロパティ】のウィンドウ内の【設定】をクリックします。
  5. 【設定】メニュー内の【詳細】をクリックします。
  6. 【詳細】のウィンドウ内の【モニタ】をクリックします。
  7. 【モニタ】のメニュー内に、【プロパティ】が表示されるので、これをクリックします。
  8. 【プロパティ】内の【ドライバ】タグをクリックします。
  9. 【ドライバ】メニュー内の【ドライバの更新】をクリックします。
  10. このとき“デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始”が表示されます。ここで【次へ】をクリックします。
  11. “このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する”をマークします。
  12. 【次へ】をクリックします。
  13. 【ディスク使用】をクリックします。
  14. 【フロッピーディスクからのインストール】のウィンドウが表示されるので、本ディスプレイに付属されているユーティリティーディスクを入れて、【参照】をクリックします。
  15. ドライブを指定して“WIN\_INF”のフォルダを選択し【開く】をクリックすると、【フロッピーディスクからのインストール】のウィンドウに戻るので【OK】をクリックします。
  16. “NEC MultiSync LCD5710”を選択し、【次へ】をクリックします。
- ※ RGB1 入力での設定は(Digital)を、RGB2, 3 入力での設定は (Analog) を選択してください。
17. “ハードウェアデバイスのドライバをインストールします”とメッセージが表示されますので、【次へ】をクリックします。
  18. ここで、“デジタル署名が見つかりません”とのメッセージが表示されますので、そのまま“はい (Y)”をクリックしてインストールを続行します。
  19. “このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました”と表示された後に【完了】をクリックします。
  20. 【ディスプレイの変更】のウィンドウに戻るので、【閉じる】をクリックします。
  21. 残ったウィンドウ内（詳細メニュー）の【OK】をクリックします。
  22. 【画面のプロパティ】のウィンドウ内の【OK】をクリックします。

### <インストール方法および Windows®XP の設定>

1. Windows®XP を起動します。
  2. 【スタート】をクリックし、【コントロールパネル】を選びます。
  3. 【コントロールパネル】内の【画面】のアイコンをダブルクリックすると、【画面のプロパティ】のウィンドウが表示されます。
  4. 【画面のプロパティ】のウィンドウ内の【設定】をクリックします。【設定】のメニュー内の【詳細設定】をクリックし【モニタ】と表示されたタグをクリックします。
  5. 【プロパティ】をクリックし、メニュー画面内の【ドライバ】と表示されたタグをクリックして、【ドライバの更新】をクリックします。
  6. 【ハードウェアの更新ウィザード】の画面が開き、“ハードウェア更新ウィザードの開始”と表示されるので、【一覧または特定の指定場所からインストールする】を選択し、【次へ】をクリックします。
  7. 【検索しないでインストールするドライバを選択する】を選択し、【次へ】をクリックします。
  8. 【ディスク使用】をクリックします。
  9. 【フロッピーディスクからのインストール】の画面が表示されるので、本ディスプレイに付属されているユーティリティーディスクを入れて、【参照】をクリックします。
  10. 【ファイルの場所】でドライブを指定して“WIN\_INF”のフォルダを選択し【開く】をクリックすると、【フロッピーディスクからのインストール】のウィンドウに戻るので【OK】をクリックします。
  11. 【ハードウェア更新のウィザード】の画面が表示されるので、ウィンドウ内の“NEC MultiSync LCD5710”を選択し、【次へ】をクリックします。
- ※ RGB1 入力での設定は(Digital)を、RGB2, 3 入力での設定は (Analog) を選択してください。
12. “ハードウェア更新のウィザードの完了”と表示されるので、【完了】をクリックします。
  13. 【閉じる】をクリックします。次に、【モニタ】と表示されたタグにて【適用】、【OK】の順にクリックします。
  14. 【画面のプロパティ】のウィンドウ内の【OK】をクリックします。

### < WindowsNT® をご使用のお客様へ >

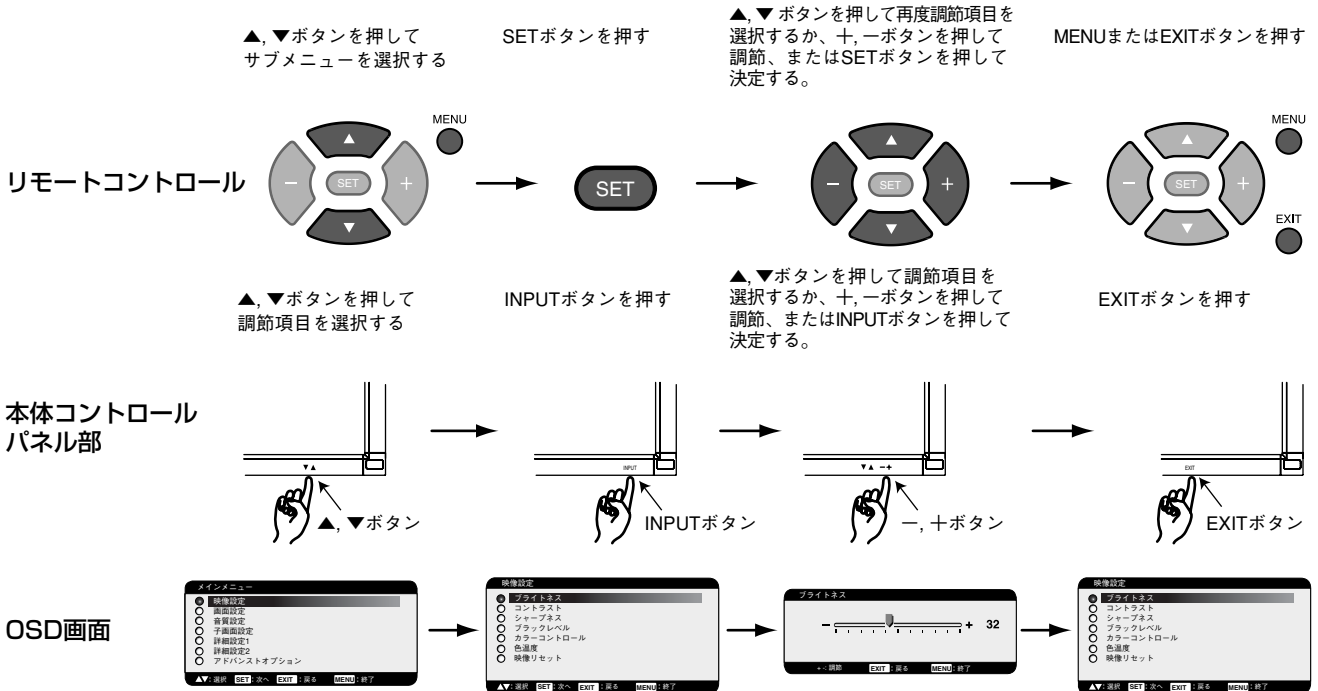
WindowsNT® には Windows®95/98 のようなディスプレイごとの設定機能がありません。従って上記ファイル (Windows®95、Windows®98 対応設定ファイル) を使用しても WindowsNT® にはインストールできませんのでご了承のほどお願いいたします。なお、WindowsNT® 上で表示される「ディスプレイアダプター」とはコンピューターに搭載されているグラフィックボードを意味します。

#### お願い

コンピューターによっては、名称・操作方法が一部異なる場合があります。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

# 9. OSD画面調節


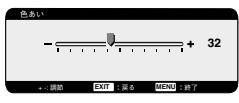
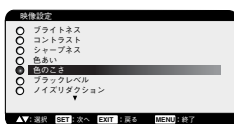
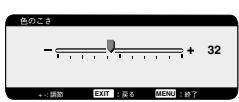
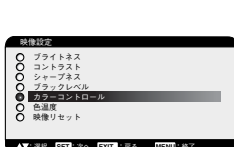
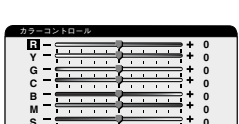
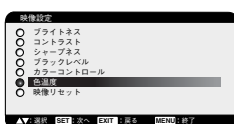
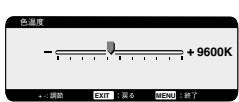


リモコンのMENUボタンまたは本体の▲、▼ボタンを押してOSD画面を表示します。



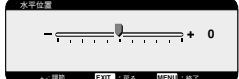


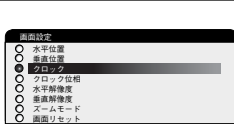
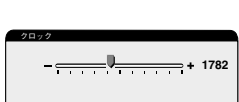





## お知らせ



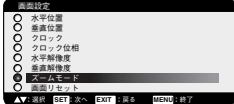


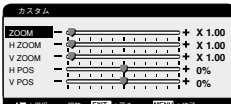


接続状態によりOSD画面調節内容が異なりますので、参照ページについては目次で確認してください。



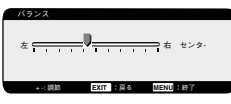



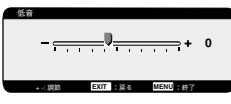


メインメニュー		映像設定		サブメニュー	
<b>ブライトネス</b>			明るさを調節します。 +ボタンを押すと明るくなります。 -ボタンを押すと暗くなります。		
<b>コントラスト</b>			コントラストを調節します。 +ボタンを押すと濃くなります。 -ボタンを押すと薄くなります。 注) sRGB映像モードでは機能しません。		
<b>シャープネス</b>			シャープネスを調節します。 +ボタンを押すとシャープになります。 -ボタンを押すとソフトになります。 注) 調節しすぎると線が二重になったりする場合があります。この場合はシャープネスの設定を下げてください。		
<b>ブラックレベル</b>			ブラックレベルを調節します。 +ボタンを押すと薄くなります。 -ボタンを押すと濃くなります。 注) sRGB映像モードでは機能しません。		
<b>ノイズリダクション</b> ビデオ入力の場合のみ			ノイズリダクションレベルを調節します。 +ボタンを押して、調節値を大きくするとノイズが少なくなります。		

<p><b>色あい</b></p> <p>* DVD/HD,VIDEO入力の場合のみ</p>			<p>画面の色あいを調節します。</p> <p>十ボタンを押すと緑がかった色になります。 一ボタンを押すと紫がかった色になります。</p>
<p><b>色のこさ</b></p> <p>* DVD/HD,VIDEO入力の場合のみ</p>			<p>色のこさを調節します。</p> <p>十ボタンを押すと濃くなります。 一ボタンを押すと薄くなります。</p>
<p><b>カラーコントロール</b></p> <p>* RGB1,2,3入力の場合のみ</p>			<p>赤色、黄色、緑色、シアン色、青色、マゼンダ色、色飽和のレベルをカラーバーで調節できます。</p> <p>R : 赤 Y : 黄 G : 緑 C : シアン B : 青 M : マゼンタ S : 彩度</p> <p>注) sRGB映像モードでは機能しません。</p>
<p><b>色温度</b></p>			<p>色温度を調節します。</p> <p>色温度が低くなると画面が赤っぽくなり、高くなると画面が青っぽくなります。</p> <p>注) sRGB映像モードでは機能しません。</p>
<p><b>映像リセット</b></p>			<p>映像設定が全て工場設定の状態に戻ります。</p>

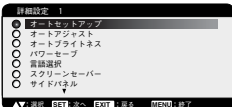

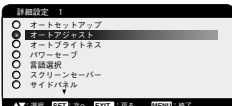

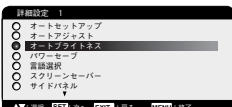


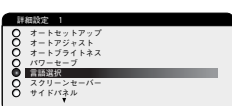
<p>メインメニュー</p> <p><b>画面設定</b></p>		
<p>サブメニュー</p>		
<p><b>水平位置</b></p>		 <p>画面の水平位置を調節します。</p> <p>十ボタンを押すと画面が右へ移動します。 一ボタンを押すと画面が左へ移動します。</p>
<p><b>垂直位置</b></p>		 <p>画面の垂直位置を調節します。</p> <p>十ボタンを押すと画面が上へ移動します。 一ボタンを押すと画面が下へ移動します。</p>
<p><b>クロック</b></p> <p>* RGB2または3入力の場合のみ</p>		 <p>コンピューターの画面サイズや文字のにじみを調節します。</p> <p>十ボタンを押すと画面が広がります。 一ボタンを押すと画面が左へ縮みます。</p>
<p><b>クロック位相</b></p> <p>* RGB2または3入力の場合のみ</p>		 <p>画面のちらつきが周期的に変化するレベルを調節します。</p>
<p><b>水平解像度</b></p> <p>* RGB1,2,3入力の場合のみ</p>		 <p>入力タイミングの水平解像度を設定します。</p> <p>十ボタンを押すと水平画面表示エリアサイズが小さくなります。 一ボタンを押すと水平画面表示エリアサイズが大きくなります。</p>



<p><b>垂直解像度</b></p> <p>*RGB1,2,3入力の場合のみ</p>	 	<p>入力タイミングの垂直解像度を設定します。</p> <p>十ボタンを押すと垂直画面表示エリアサイズが小さくなります。 一ボタンを押すと垂直画面表示エリアサイズが大きくなります。</p>
<p><b>ズームモード</b></p>	<p>*RGB1・2・3入力の場合のみ</p>   <p>*INPUT DVD/HD,VIDEOの場合のみ</p>  	<p>ズームモードで画面をお好みの状態に設定できます。</p> <p>1. RGB1,2,3信号入力の場合、カスタムを選択すると次の項目が調節できます。</p> <p>ズーム：水平/垂直を同時に拡大します。 水平ズーム：水平のみが拡大します。 垂直ズーム：垂直のみが拡大します。 水平位置：十で右へ移動、一で左へ移動します。 垂直位置：十で上へ移動、一で下へ移動します。</p> <p>2. 信号入力がDVD/HD,VIDEOの場合のみの時は画面が16：9表示と14：9表示およびダイナミックも選択できます。</p> <p>注) ダイナミックを選択すると画面中央部と外側で伸張比率を変えて、自然なワイド表示にできます。ただし、画像によっては上下がカットされたイメージになります。 HDTV映像の場合はFULL表示と同じになります。</p> <p>「リアル」は拡大/縮小しないで表示されます。入力信号が1920x1080を超える解像度の場合には対応可能な最大解像度で表示されます。</p>
<p><b>画面リセット</b></p>	 	<p>画面設定が工場設定の状態に戻ります。但し、水平位置、垂直位置、クロック、クロック位相、水平解像度、垂直解像度はリセットされません。</p>

<p><b>メインメニュー</b></p> <p><b>音質設定</b></p> <p>サブメニュー</p>		
<p><b>バランス</b></p>	 	<p>左右の音声バランスを調節します。</p> <p>十ボタンを押すと左側の音が小さくなります。 一ボタンを押すと右側の音が小さくなります。</p>
<p><b>高音</b></p>	 	<p>高音域の音量を調節します。</p> <p>十ボタンを押すと高い音が強くなります。 一ボタンを押すと高い音が弱くなります。</p>
<p><b>低音</b></p>	 	<p>低音域の音量を調節します。</p> <p>十ボタンを押すと低い音が強くなります。 一ボタンを押すと低い音が弱くなります。</p>
<p><b>音質リセット</b></p>	 	<p>音質設定が工場設定の状態に戻ります。</p>


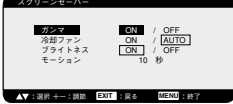
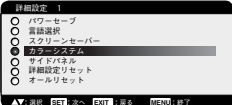

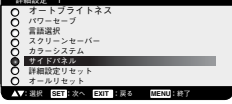
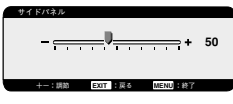
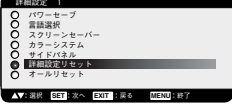

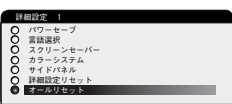


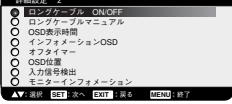

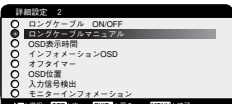
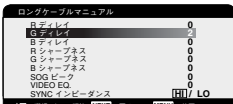




メインメニュー 子画面設定		
サブメニュー		
子画面／静止画 サイズ	 	子画面／静止画モードで、挿入する画面のサイズを選択します。(P34) また、リモコンの▲/▼/+/-ボタンで子画面の位置を移動できます。
音声選択	 	子画面／静止画モードを使用しているときの音声を選択します。 親画面音声を選ぶと親画面の音声、子画面音声を選ぶと子画面の音声になります。 Side by Side選択時には、親画面音声を選ぶと親画面(左側)の音声が出力され、子画面音声を選ぶと子画面(右側)の音声が出力されます。
子画面／静止画 リセット	 	子画面／静止画設定が工場設定の状態に戻ります。



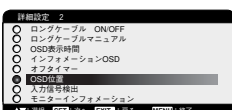


メインメニュー 詳細設定 1		
サブメニュー		
オートセットアップ *RGB2または3入力の場合のみ	 	セットボタンを押すと画面サイズ、水平／垂直位置、クロック、クロック位相、ホワイトレベル、ブラックレベルを自動的に調節します。
オートアジャスト *RGB2または3入力の場合のみ	 	「ON」を選択すると、タイミング切替時に水平／垂直位置、クロック位相を自動的に調節します。
オートブライトネス *RGB1、2、3入力の場合のみ	 	「ON」を選択すると、映像内容に応じて画面の明るさを自動的に調節します。
パワーセーブ	 	「ON」を選択すると、パワーセーブ機能が動作します。 RGB1,2,3 信号入力の場合は、同期信号が失われると数秒後にパワーセーブモードになります。 DVD/H DやVIDEO信号入力の場合は、入力信号が失われると約10分後にパワーセーブモードになります。
言語選択	 	OSDに使用する言語を選択します。


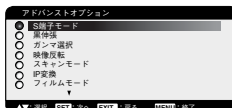

**お知らせ**


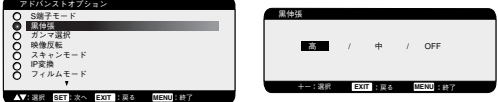
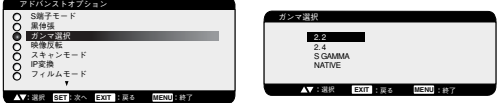
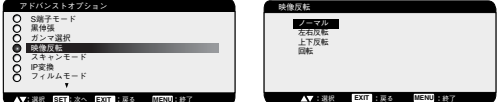
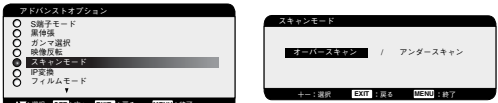

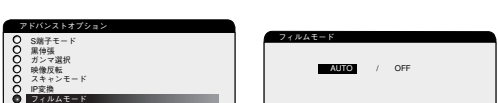


RGB1信号入力の時、画面が消えていてもビデオカード側にてデジタルデータの送信を止めないことがあります。この場合、パワーセーブモードにはなりません。



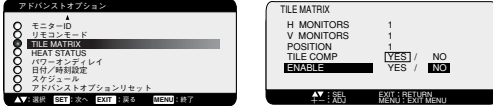
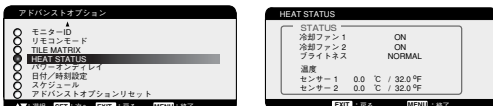
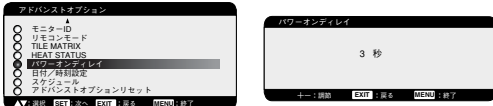
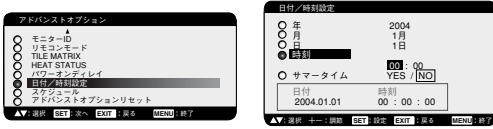
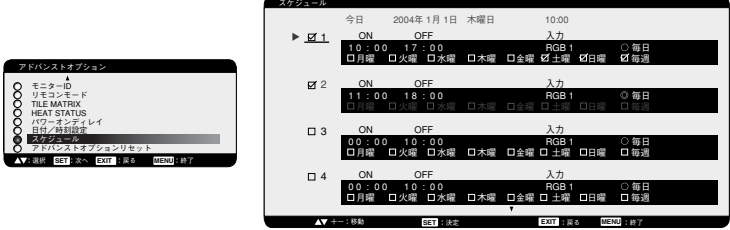
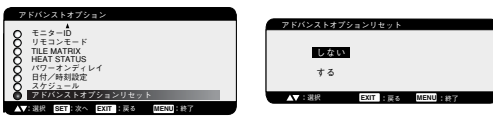
<p>スクリーンセーバー</p>	 	<p>スクリーンセーバーを設定します。 本機能は液晶パネルにかかる負担を軽減させるものです。 〔P33〕 P33のお知らせをご覧ください。 【ガンマ】（残像軽減機能） 「ON」を選択すると残像になりにくいガンマに切替ります。 【冷却ファン】 「ON」を選択すると内蔵ファンが常時動作します。 「AUTO」を選択すると内部温度が保証温度以上になった時に、自動的に内蔵ファンが動作します。 【ブライツネス】 「ON」を選択するとブライツネスを自動的に下げます。 【モーション】 設定した時間で画面がわずかに上下左右に周期的に移動することにより液晶パネルの残像を軽減させます。お好みの時間を設定してください。モーションで時間を設定した場合はPIP、STILLは動作しません。</p> <p><b>お知らせ</b> モーションで時間を設定した場合は、画面を拡大し、上下左右に移動するため、表示領域からはみ出した部分は表示されません。 常に表示したい内容は、画面中心の90%程度の範囲におさまるように表示内容を検討願います。（〔P35〕）</p>
<p>カラーシステム *VIDEO入力の場合のみ</p>	 	<p>使用するビデオ機器の映像信号フォーマットを選択します。 AUTO：NTSC、PAL、SECAM、4.43NTSCあるいはPAL60のビデオ入力方式により自動的に選択 NTSC：NTSCフォーマット PAL：PALフォーマット SECAM：SECAMフォーマット 4.43 NTSC：4.43 NTSCフォーマット PAL-60：PAL60フォーマット</p>
<p>サイドパネル</p>	 	<p>4:3画面を表示した場合、両側の画像のない部分の色を調節します。 ＋ボタンを押すと、白く（明るく）なります。 －ボタンを押すと、黒く（暗く）なります。</p>
<p>詳細設定リセット</p>	 	<p>詳細設定が工場設定の状態に戻ります。</p>
<p>オールリセット</p>	 	<p>映像設定、画面設定、音質設定、詳細設定1、詳細設定2、アドバンストオプションの設定が工場設定の状態に戻ります。 但し、水平位置、垂直位置、クロック、クロック位相、水平解像度、垂直解像度、言語、日付/時刻設定、スケジュールはリセットされません。</p>
<p>メインメニュー 詳細設定 2 サブメニュー</p>		
<p>ロングケーブル ON/OFF *RGB2および3入力の場合のみ</p>	 	<p>長いケーブルを接続したときに、設定します。 「ON」を選択し、オートセットアップを実行した時に機能が働きます。 詳細は添付のユーティリティディスクのReadme.txtを参照ください。</p>
<p>ロングケーブルマニュアル *RGB2および3入力の場合のみ</p>	 	<p>長いケーブルを使用し、画面の劣化が生じた時にそれぞれの項目を手動で調節できます。 詳細は添付のユーティリティディスクのReadme.txtを参照ください。 * VIDEO EQ.とSYNCインピーダンスはRGB3入力の場合のみ調節できます。</p>
<p>OSD表示時間</p>	 	<p>OSD表示時間の設定をします。 10秒～240秒の間で設定ができます。</p>
<p>インフォメーション OSD</p>	 	<p>インフォメーションOSD表示の「ON」「OFF」を設定します。 3～10秒間の表示時間設定ができます。 * インフォメーション表示は入力の切替えや入力信号の状態が変化した時、または入力信号が異常な時に画面に表示されるメッセージです。</p>

<p>オフタイマー</p>	 	<p>オフタイマーを設定します。</p> <p>自動的に電源オフするまでの時間を設定します。設定可能時間は1~24時間です。 * オフタイマーをONにすると、スケジュール (P33) は動作しません。</p>
<p>DVI モード *RGB1入力の場合</p>	 	<p>DVI-Dモードを選択します。</p> <p>PCやその他のコンピューターと接続する場合、「DVI-PC」を選びます。 DVDプレーヤーと接続する場合、「DVI-HD」を選びます。</p>
<p>OSD位置</p>	 	<p>OSDメニューの表示位置を調節します。</p> <p>十ボタンを押すと画面の右へ移動します。 一ボタンを押すと画面の左へ移動します。 ▲ボタンを押すと画面の上へ移動します。 ▼ボタンを押すと画面の下へ移動します。</p>
<p>入力信号検出</p>	 	<p>2つ以上のコンピューターを接続する時、入力信号検出方法を設定します。</p> <p><b>【FIRST DETECT】</b> 現在表示しているコネクタへの映像信号が無くなった時に、他のコネクタへ映像信号が入力している場合、入力を自動的に切替えます。 * RGB1,2,3の入力コネクタのみが対象です。 DVD/HD,VIDEO入力コネクタは、自動切替えの対象外です。</p> <p><b>【LAST DETECT】</b> 現在表示しているコネクタの映像信号が無くなった時に、他のコネクタから映像信号が入力されている場合、入力を自動的に切替えます。更に、現在表示しているいずれかのコネクタとは別のコネクタから映像信号が新たに入力された時は、最も新しい映像信号の表示へ自動的に切替えます。 * RGB1,2,3の入力コネクタのみが対象です。 DVD/HD,VIDEO入力コネクタは、自動切替えの対象外です。</p> <p><b>【VIDEO DETECT】</b> DVD/HD または VIDEO入力コネクタに映像信号がある場合は、RGB1,2,3信号を選んでいても自動的にDVD/HD,VIDEO (S端子モードをS独立に設定している場合は、VIDEOとVIDEO(S)) に切替ります。切替った後にDVD/HDまたはVIDEOの信号が無くなった場合は、元の入力信号へ戻ります。</p> <p><b>【NONE】</b> 入力信号を手動で切替えます。</p>
<p>モニター インフォメーション</p>	 	<p>モデル名とシリアルナンバーを表示します。</p>

<p>メインメニュー アドバンストオプション</p> <p>サブメニュー</p> 		
<p>S端子モード</p>	 	<p>S端子の動作モードを切替えます。</p> <p><b>【S優先】</b> ケーブルがS端子に接続されている場合、コンポジット入力よりS端子が優先します。</p> <p><b>【S独立】</b> S端子とコンポジット入力端子は、それぞれ選択することができます。</p>

<p><b>入力解像度</b></p> <p>*RGB2・3入力の場合</p>		<p>1024x768,1280x768,1360x768の信号が入力された場合の、入力信号の解像度を選択します。</p> <p>AUTO : 解像度を自動的に選択します。  1024x768 : 解像度を1024x768に切り換えます。  1280x768 : 解像度を1280x768に切り換えます。  1360x768 : 解像度を1360x768に切り換えます。</p>
<p><b>黒伸張</b></p> <p>*VIDEO入力の場合のみ</p>		<p>黒伸張のレベルを選択します。</p>
<p><b>ガンマ選択</b></p>		<p>ガンマを選択します。</p> <p>2.2  2.4  S GAMMA  NATIVE</p> <p>注) sRGB映像モードでは機能しません。</p>
<p><b>映像反転</b></p>		<p>画像の状態を選択します。</p> <p>ノーマル：通常の画像で表示します。  左右反転：映像の左右を反転します。  上下反転：映像の上下を反転します。  回転：映像を180°回転します。</p>
<p><b>スキャンモード</b></p> <p>*DVD/HD、VIDEO入力の場合のみ</p>		<p>画像表示エリアを選択します。</p> <p>オーバースキャン：入力信号の約95%を表示します。  アンダースキャン：入力信号のほぼ100%を表示します。</p>
<p><b>IP変換</b></p>		<p>IP変換モードを選択します。</p> <p>【プログレッシブ】  インターレース信号をプログレッシブに変換して表示します。通常はこちらを選択してください。</p> <p>【インターレース】  インターレース信号をそのまま表示します。  この機能は動画に適していますが、静止画では画像が綺麗に表示されなくなります。</p>
<p><b>フィルムモード</b></p> <p>*DVD/HD、VIDEO入力の場合のみ</p>		<p>フィルムモード機能を選択します。</p> <p>AUTO : 24フレーム/秒の映像を自動検出して表示します。  OFF : 24フレーム/秒の映像を自動検出しません。</p> <p><b>お知らせ</b>  フィルムモードをAUTOに設定した場合は、IP変換をプログレッシブに設定してください。</p>
<p><b>モニター ID</b></p>		<p>RS-232Cを使ってマルチ接続したLCD5710にコントロール用のID番号を与えます。</p> <p>ID番号は1~26の間で選べます。</p>
<p><b>リモコンモード</b></p>		<p>RS-232Cを使ってマルチ接続して使用する際のワイヤレスリモコンの動作方法を選択します。</p> <p><b>お知らせ</b>  選択されたりモコンは「SET」ボタンを押すことで有効になります。</p> <p>NORMAL : 全てのリモコン操作が有効状態です。  PRIMARY : RS-232Cを使ってマルチ接続した場合に、先頭のLCD5710に設定します。  SECONDARY : RS-232Cを使ってマルチ接続した場合に、先頭以外のLCD5710に設定します。  LOCK : 全てのリモコン操作が無効になります。</p> <p><b>お知らせ</b> (P34)  リモコンの「DISPLAY」ボタンを5秒以上押し続けると「NORMAL」に戻ります。</p>



<h2>TILE MATRIX</h2>		<p>TILE MATRIXは画面を分割してマルチスクリーンで表示する機能です。25台までのLCD5710どうしを使用して単一画面の表示ができます。また、画像を水平および垂直に最大5分割できます。</p> <p><b>お知らせ</b> 分配器またはRGB OUTを使って、映像信号を各々のLCD5710へ接続する必要があります。 TILE MATRIX画面が表示されるとPIP, POP, Side by Side, STILL、ダイナミック(ズームモード)は解除されます。</p> <p>H MONITORS : 水平分割数を設定します。 V MONITORS : 垂直分割数を設定します。 POSITION : 拡大したい部分を選択します。 TILE COMP : 画面を複数の液晶ディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるように液晶ディスプレイの繋ぎ目の表示方法を変更する機能を選択します。 ENABLE : 「YES」を選ぶと選択された位置の液晶ディスプレイの画面が拡大されます。</p>
<h2>HEAT STATUS</h2>		<p>冷却ファン、明るさ、内部温度の状況のお知らせです。</p> <p><b>お知らせ</b> ・冷却ファンは内部温度が保証温度以上になった時、またはスクリーンセーバーで冷却ファンONを選択した時に動作します。 ・内部温度が動作保証温度以上になった時、画面が暗くなります。 この場合、画面上に「TEMPERATURE WARNING」の警告が表示されます。</p>
<h2>パワーオンディレイ</h2>		<p>「スタンバイ」から「電源オン」モードになるまでの遅延時間を調節します。</p> <p>遅延時間は0~50秒の間で設定できます。</p>
<h2>日付/時刻設定</h2>		<p>現在の日付と時刻を設定します。</p> <p>スケジュール機能を使用する場合は、必ず設定してください。</p>
<h2>スケジュール</h2>		<p>液晶ディスプレイの動作スケジュールをプログラムします。 ( P35)</p>
<h2>アドバンストオプションリセット</h2>		<p>アドバンストオプションで設定した内容が全て工場設定の状態に戻ります。 ただし、日付/時刻設定、スケジュールはリセットされません。</p>

### ⚠ 重要なお知らせ

#### 残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。

「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

また、ディスプレイを使用しないときは、パワーマネジメント機能(パワーセーブ)やスケジュール機能を使ったり、ワイヤレスリモコンや電源ボタンを操作して電源を切ることをおすすめします。

## OSD 補足説明

### PIP (ピクチャーインピクチャー) 機能の親画面と子画面の制限

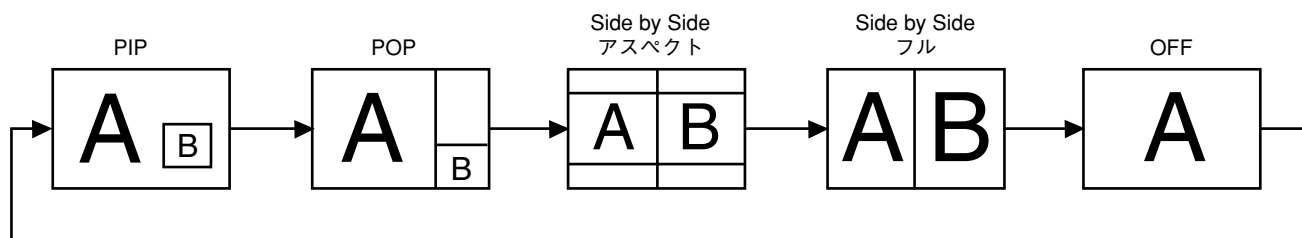
下表に示す信号入力の見合わせのときに PIP 機能を使用することができます。

		子画面				
		RGB1	RGB2	RGB3	DVD/HD	VIDEO
親画面	RGB1	×	×	×	○	○
	RGB2	×	×	×	○	○
	RGB3	×	×	×	○	○
	DVD/HD	○	○	○	×	○
	VIDEO	○	○	○	○	×

○：子画面表示可能  
×：子画面表示不可

#### お知らせ

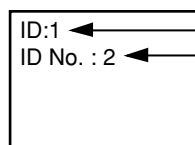
1080i 信号には対応していません。1080i 信号入力時、子画面はブランク画面になります。1080p 信号には対応しています。リモコンの「PIP ON/OFF」ボタンを押すと、PIP・POP・SIDE BY SIDE (サイドバイサイド) が下図のように切替ります。



### リモコンナンバリング機能について

RS-232C ケーブルにより、複数台の LCD5710 をマルチ接続することにより 1 台のリモコンで希望の 1 台、もしくは全ての LCD5710 をコントロールすることができます。

1. モニター ID でマルチ接続された各々の LCD5710 へ任意の ID を割り付けます。  
モニター ID は 1～26 まで設定することができます。  
先頭から、順番に 1,2,3..... と連続で ID を設定されることをお奨めします。
2. 先頭に接続された LCD5710 のリモコンモードを PRIMARY に設定し、他は SECONDARY に設定します。
3. PRIMARY に設定した LCD5710 のリモコン受光部に向けてリモコンの DISPLAY ボタンを押すと画面の左上に ID 選択 OSD が表示されます。



自分の ID を表示します。

コントロールしたい液晶ディスプレイの ID をリモコンの +/- ボタンで選択します。  
ID が一致した LCD5710 の左上に ID が表示されます。  
ALL を選択すると、接続されているすべての LCD5710 を制御できます。

4. PRIMARY に設定した LCD5710 のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。  
OSD は選択された ID の LCD5710 に表示されます。

#### お願い

PRIMARY の LCD5710 に ID 選択 OSD が表示されている場合は、もう一度リモコンの DISPLAY ボタンを押して ID 選択 OSD を消してから操作をおこなってください。

#### ヒント

リモコンモードを間違えて設定し、リモコン操作ができなくなったときは本体のボタンで OSD 画面を表示しアドバンストオプションでリモコンモードを変更してください。

また、リモコンの DISPLAY ボタンを 5 秒以上連続で押し続けるとリモコンモードを初期設定の NORMAL に戻すことができます。

## スケジュールの設定操作方法について



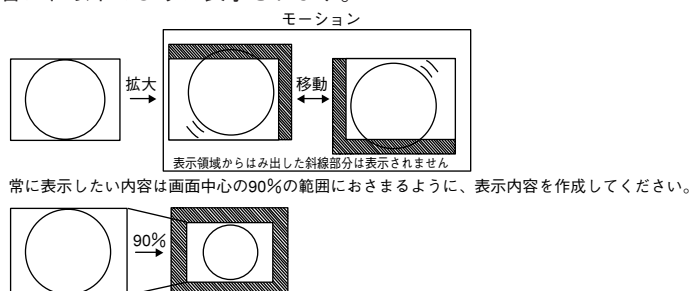
- ① 左端のプログラム番号1～7のチェックボックスの下にバーがある時  
 ▲▼ボタンで上下に、十一ボタンで左右に赤いバーが移動します。  
 SET ボタンでチェックボックスにチェックを付けることができます。  
 チェックボックス：チェックを付けるとプログラムが有効、外すと無効になります。  
 プログラムはスケジュール画面が閉じられると、設定したプログラムが有効となり、設定時間になると実行されます。
- ② スケジュール設定に赤いバーがある場合  
 赤いバーは十ボタンで右へ、一ボタンで左へ動きます。  
 ▲▼SET ボタンで電源ON/OFF時間・入力設定およびチェックボックス・ラジオボタンの有無を付けることができます。  
 ON：スケジュールで電源をONする時間を設定します。ON時間を指定しない場合は「—」を設定してください。  
 OFF：スケジュールで電源をOFFする時間を設定します。OFF時間を指定しない場合は「—」を設定してください。  
 入力：電源ON時の入力選択を表します。電源ONが実行される以前に選択されていた入力で電源ONする場合は、「—」を選択してください。  
 毎日：設定したスケジュールを毎日実行する場合、毎日のラジオボタンにチェックを付けます。毎日を選択した場合は曜日設定・毎週の設定はできません。  
 月曜～日曜：スケジュールを実行する曜日のチェックボックスにチェックを付けます。  
 毎週：毎週同じ曜日にスケジュールを実行する場合は毎週のチェックボックスにチェックを付けます。

## お知らせ

- ・「スケジュール」を設定する前に、必ず「日付/時刻設定」で現在日時を設定してください。
- ・スケジュール画面を閉じると設定した値が保存されます。
- ・複数のスケジュールが設定されている場合は、プログラム番号の大きいスケジュールを優先し、最後に実行したスケジュールで電源OFFします。
- ・同時刻の複数のスケジュールが重なった場合は、プログラム番号の大きいほうが優先されます。
- ・ON時間とOFF時間が同一時刻の設定はできません。
- ・オフタイマーが「ON」に設定されている場合は、スケジュール設定を無視します。

## スクリーンセーバー (P30) のモーションについて

モーションで時間を設定した場合は、以下のように表示されます。



# 10. 困ったとき

## 故障かな？と思ったら

このようなときは	お調べください
<b>画面に何も映らない</b> ●電源ランプが点灯しない場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コードを正しく接続していますか。</li> <li>●主電源スイッチは入（ ）になっていますか。</li> <li>●リモコンの電源ボタンを押して「入」にしましたか。</li> <li>●電源コンセントに電気が正常に供給されているか、別の機器で確認してください。</li> </ul>
●電源ランプが点灯している場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ケーブル類が本機または接続機器のコネクターに正しく接続されていますか。</li> </ul>
<b>リモコンで操作できない</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンの乾電池が消耗していませんか。</li> <li>●リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。</li> <li>●ディスプレイ本体の受光部に正しく向けていますか。（P12参照）</li> <li>●リモコンモードが設定されていませんか。（P32参照）</li> </ul>
<b>画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 *液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。</li> </ul>
<b>画面が暗くなった、ちらつく、表示しなくなった</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、表示しなくなった場合は、新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「121コンタクトセンター」にご相談ください。</li> </ul>
<b>映像は出るが、音は出ない</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●片方のスピーカーから音が出ない場合は、ビデオ入力端子の接続コードが外れていないか、バランスの調整が右または左に片寄っていないかを調べてください。</li> <li>●差し込まれた入力端子と音声入力が異なっていませんか。</li> <li>●消音（MUTE）になっていませんか。（P7, 9参照）</li> <li>●音量が最小になっていませんか。</li> </ul> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●音声入力の切替えは、各画面ごとに設定が可能です。</li> </ul>
<b>電源ランプが、赤色に点滅している</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機の自己診断機能が動作し、異常を検出すると、電源ランプが赤色に点滅します。故障の可能性がありますので、販売店または「121コンタクトセンター」へお問い合わせください。</li> </ul>
<b>自動的に電源が切れてしまう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オフタイマーが設定されていませんか。（P31参照）</li> </ul>
<b>スケジュール機能で設定したとおりに動作しない</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オフタイマーが設定されていませんか。（P31参照） オフタイマーが「ON」と設定されている場合は、スケジュール機能は動作しません。</li> </ul>
<b>子画面が表示しない（黒くなる）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1080iが入力されていませんか。（P9, 34参照）</li> </ul>

次ページに続く

## コンピューターを使うとき

このようなときは	お調べください
<b>画面に何も映らない</b> ●電源ランプが緑色に点灯している	●OSD画面でコントラストおよびブライトネスを調節してください。 (OSD画面が表示されれば、本機は正常です。)
●電源ランプが緑色と赤色が同時に点灯している	●パワーセーブ機能が作動していると、画面が表示されません。 キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かしてください。 ●信号ケーブルを正しく接続していますか。 ●変換アダプターは正しく接続していますか。 ●コンピューターの電源が「切」になっていませんか。
<b>画面がちらつく</b>	●分配器を使用していませんか。 コンピューターと直に接続してください。 ●OSD画面でクロックとクロック位相を調節してください。
<b>表示色がおかしい</b>	●色温度を調節してください。
<b>画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている</b>	●長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像が起こることがあります。 電源を切るか、変化する画面を表示していれば、像は1日程度で自然に消えます。 長時間に渡って静止画面を表示すると、残像が消えなくなる場合がありますが、故障ではありません。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。
<b>画面に「注意」が表示された</b> ●パワーセーブ設定OFF時 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             注意！              入力信号がありません              接続を確認してください           </div>	●信号ケーブルをコンピューターのコネクターに正しく接続していますか。 ●信号ケーブルが断線していませんか。
●パワーセーブ設定ON時 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             注意！              入力信号がありません              接続を確認してください           </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">             ↓ 約5秒間表示後           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             パワーセーブ           </div>	●信号ケーブルをコンピューターのコネクターに正しく接続していますか。 ●信号ケーブルが断線していませんか。 ●パワーセーブ機能が作動していませんか。 (マウスを動かすか、キーボードのキーを押してください。)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             注意！              入力周波数または解像度が範囲外です              入力周波数または解像度を変更してください                水平周波数：75kHz              垂直周波数：60Hz           </div>	●本機に適切な信号が入力されているかを確認ください。 <b>お知らせ</b> ●コンピューターによっては電源を入れても信号がすぐに出られないため、左の画面が表示されることがあります。しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号の走査周波数は正常です。 ●左図のような注意画面が表示されて消えない場合は、コンピューターの設定を本機に適切な入力周波数または解像度へ変更してください。(本機は、水平周波数：15.625kHz、15.734kHz、31.5kHz～91.1kHz、垂直周波数：50.0Hz、58.0Hz～85.0Hz、解像度：VGA60、SVGA60、XGA60、WXGA60、SXGA60、UXGA60に対応しています。)
<b>画面に「警告」が表示された</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             TEMPERATURE WARNING           </div>	●周りの環境が保証温度を超えた状態になっています。故障の原因となりますので、電源を切ってください。

### 重要なお知らせ

#### 残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。

「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

また、ディスプレイを使用しないときは、パワーマネジメント機能（パワーセーブ）やスケジュール機能を使ったり、ワイヤレスリモコンや電源ボタンを操作して電源を切ることをおすすめします。

## 保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。  
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。  
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間は保証書に記載しています。  
保証書の記載内容によりお買上げの販売店にご依頼ください。  
その他詳細は保証書をごらんください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店か、  
「121コンタクトセンター（フリーコール：0120-977-121）」へご相談ください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| ●お名前               | ●製造番号（本機背面のラベルに記載）    |
| ●ご住所（付近の目標など）      | ●故障の症状、状況など（できるだけ詳しく） |
| ●電話番号              | ●購入年月日または使用年数         |
| ●品名：マルチシンク液晶ディスプレイ |                       |
| ●型名：LCD5710        |                       |

## 本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい商品の開発と常に最新のISOやTCOの標準に従って行動するように努力しています。当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社インターネットホームページをご覧ください。

<http://www.nec-display.com>

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお申し込みは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター
事業系（法人ユーザー様）の窓口
TEL 03-3455-6106 URL <a href="http://www.diarcs.com">http://www.diarcs.com</a>
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。

※本機は事業系（法人ユーザー様）向けに販売している商品です。  
個人ユーザー様が本商品を排出される時には、有償となることがあります。  
詳細は弊社ホームページ（<http://www.nec-display.com/environment/appli.html>）をご参照ください。

### お知らせ

「1. ご使用の前に」（P2）第2項目のVCCIに関するご説明文の中で、「この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、」という記述をしておりますが、これは本機がVCCIクラスBというより厳しい基準に適合させていることから、協議会から指定された文章を記述したものであり、本機は家庭環境での使用を目的とはしていません。

# 11. 付 録

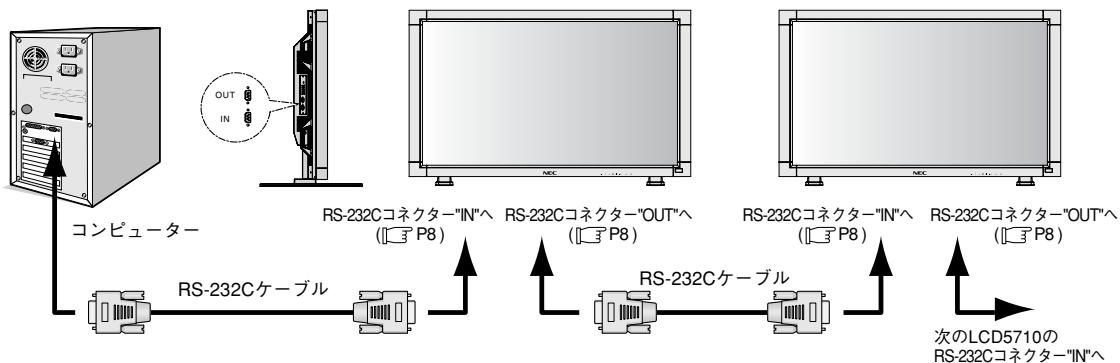
## RS-232C リモートコントロール

本機のRS-232C端子とコンピューターのRS-232C端子をRS-232Cケーブル（別売）で接続するとコンピューターから次のような操作が可能になります。

- ・電源の入切
- ・入力切替

### 接続方法

#### 本機とコンピューター



- ・接続はコンピューターと本機の電源を切ってからおこなってください。
- ・最初にコンピューターを立ち上げてから本機の電源を入れてください。（これをおこなわないとcomポートが使用できなくなることがあります。）
- ・RS-232Cのマルチ接続（数珠つなぎ）はLCD5710同士のみ可能です。他の液晶ディスプレイと接続できません。
- ・以下でご紹介する方法では、すべてのLCD5710は同時に制御されます。状態の読み出しは不定になります。個別に制御する場合は販売店にお問い合わせください。

### お知らせ

コンピューターの25ピンシリアルポートと接続する場合は変換アダプターが必要です。  
変換アダプターについてはお買い上げの販売店へお問い合わせください。

#### 1) インターフェイス

プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600 [bps]
データ長	8 [bits]
パリティビット	なし
ストップビット	1 [bits]
フローコントロール	なし

- ・本機はRS-232Cコントロール用としてRXD, TXDおよびGNDラインを使用します。
- ・リバースタイプのRS-232Cケーブル（別売）を使用ください。

#### 2) コントロールコマンド

コマンドはアドレスコード、ファンクションコード、データコードおよびエンドコードで構成され、機能によりコマンドの長さが異なります。

	アドレスコード	ファンクションコード	データコード	エンドコード
HEX	30h 30h	ファンクション	データ	0Dh
アスキー	'0' '0'	ファンクション	データ	⏏

- [アドレスコード] 30h 30h（アスキーコードの場合、'0' '0'）固定
- [ファンクションコード] 各制御動作固有のコード
- [データコード] 各制御動作固有のデータ（数値などで指定しない場合もあります。）
- [エンドコード] 0Dh（アスキーコードの場合、'⏏'）固定

### 3) 制御シーケンス

- (1) コマンドをコンピューターから本機へ送信します。(コマンドとコマンドの間隔を600ms以上あけてください。)
- (2) 本機はエンドコード受信後600ms以内\*にリターンコマンドを送信します。正常に受信できていないときはリターンコマンドは送信しません。
- (3) コンピューターはリターンコマンドをチェックし、送信したコマンドが実行されたかどうかを確認します。
- (4) 本機からはリターンコード以外にもいろいろな他のコードが送信されます。RS-232Cによる制御シーケンスをおこなっている場合は他のコードをコンピューター側でリジェクトしてください。

\*: 信号の切替中など、リターンコマンドの送信が遅れることがあります。

[例] 電源を「入」にする。( ' 'はアスキーコードの場合)

コンピューターから送信するコマンド	本機からコンピューターへ返すステータス	返すステータスの意味
30 30 21 0D '0' '0' '!' ' ' [ ]		電源を「入」にするコマンドを送出
	30 30 21 0D '0' '0' '!' ' ' [ ]	本機がコマンドを受け取った (コマンドエコーバック)

### 4) 操作コマンド

操作コマンドは本機の基本操作の設定をおこないます。ただし、信号の切替時には動作しない場合があります。操作コマンドにはデータコードはありません。

操 作	アスキー	HEX
電源を「入」にする	!	21h
電源を「切」にする	"	22h
映像入力[RGB1]に切り替える	_r1	5Fh 72h 31h
映像入力[RGB2]に切り替える	_r2	5Fh 72h 32h
映像入力[RGB3]に切り替える	_r3	5Fh 72h 33h
映像入力[VIDEO]*に切り替える	_v1	5Fh 76h 31h
映像入力[DVD/HD]に切り替える	_v2	5Fh 76h 32h
映像入力[S-VIDEO]* <sup>2</sup> に切り替える	_v3	5Fh 76h 33h

- ・ 電源を「切」にする操作は、電源の「入」から1分以上の間隔をあけてください。
- ・ 電源を「入」にする操作は、電源の「切」から1分以上の間隔をあけてください。

\*: 「S端子モード」が「S優先」のとき、S端子にケーブルが接続されていると[S-VIDEO]が選択されます。

\*<sup>2</sup>: 「S端子モード」が「S独立」のときのみ有効

### 5) 状態の読み出し方法

コンピューターからは、データコードを付加せずに送信します。

一方、コマンドを受け取ったLCD5710は現在の動作状態をデータコードとして付加し、送信します。

[例] 電源の状態を確認すると、電源がONであった場合。

コンピューターから送信するコマンド	本機からコンピューターへ返すステータス	返すステータスの意味
30 30 76 50 0D '0' '0' 'v' 'P' ' ' [ ]		電源状態を確認するコマンドを送出
	30 30 76 50 31 0D '0' '0' 'v' 'P' '!' ' ' [ ]	本機の電源状態が Power On である

読み出しコマンドの構成

		ASCII		HEX		
		ファンクション	データ (受信)	ファンクション	データ (受信)	
電源	ON	vP	1	76 50	31	
	OFF (stand by)	vP	0	76 50	30	
入力	RGB-1 (DVI-D)	vl	r1	76 49	72 31	
	RGB-2 (D-SUB)	vl	r2	76 49	72 32	
	RGB-3 (BNC)	vl	r3	76 49	72 33	
	Video	vl	v1	76 49	76 31	
	DVD / HD	vl	v2	76 49	76 32	
	S-VIDEO	vl	v3	76 49	76 33	
ピクチャーモード	HIGHBRIGHT	vM	p1	76 4D	70 31	
	STANDARD	vM	p2	76 4D	70 32	
内部温度	AVボード 付近の温度	分解能 0.5°C	tcx1	(例) + 25.0	74 63 78 31	2B 20 32 35 2E 30
		分解能 1°C	tc1	(例) + 25	74 63 31	2B 20 32 35
	電源付近の温度	分解能 0.5°C	tcx2	(例) + 30.5	74 63 78 32	2B 20 33 30 2E 35
		分解能 1°C	tc2	(例) + 31	74 63 32	2B 20 33 31



## 仕様

## ■仕様

LCD5710 (L576RX)			
サイズ (表示サイズ)	57型 (145.0cm) (対角)		
液晶方式	アクティブマトリクス方式カラー-TFT液晶		
有効表示領域	1251.4×703.9mm		
表示画素数	1920×1080		
画素ピッチ	0.6518mm		
表示色	約1677万色		
視野角 (標準値)	左右178°、上下178° (コントラスト比10)		
輝度 (標準値)	450cd/m <sup>2</sup>		
コントラスト比 (標準値) < 明室コントラスト比 (参考値) > *1	1000 : 1 < 400 : 1 >		
設計視距離	1,500mm		
応答速度 (標準値)	16.0ms (Tr+Tf) / 8.0ms (G to G)		
入力コネクタ	PC入力	DVI-D (HDCP対応) ×1、アナログRGB×1<BNC×5>、ミニD-SUB15ピン×1	
	ビデオ入力	ビデオ入力×1<BNC、RCA端子[S端子優先/独立切換可]>、S端子×1、コンポーネント入力×1<BNC端子>	
	音声入力	RCAピンジャック・L/R×2、3.5φステレオミニジャック×1 (PC音声)	
	制御入力	RS-232C入力×1	
出力コネクタ	PC出力	アナログRGB×1<BNC×5>*2	
	ビデオ出力	ビデオ出力×1<BNC×1>	
	音声出力	RCAピンジャック・L/R×1	
	制御出力	RS-232C出力×1	
外部スピーカー出力	外部スピーカー出力	スピーカー端子・L/R×1	
	水平周波数	15.625/15.734/31.5~91.1kHz (アナログ)、31.5~91.1kHz (デジタル)	
	垂直周波数	50/58~85Hz (50/60Hz without frame buffer)	
	ビデオ信号	デジタルRGB、アナログRGB (ドットクロック 25.0~165MHz)	
	同期信号	セパレート同期信号 (TTL)、シンクオングリーン	
対応解像度	VGA60、SVGA60、XGA60、WXGA60、SXGA60、UXGA60、1920×1080 (60Hz)、ただしUXGAは簡易圧縮表示		
ビデオ入力	NTSC/PAL/SECAM/4.43NTSC/PAL60、コンポジット信号、セパレート信号 (S端子)、コンポーネント信号 (HDTV対応)		
制御入力	RS-232C規格準拠		
スピーカー/音声出力	外部スピーカー端子8Ω、音声出力7W+7W (ステレオ)、外付けスピーカー (オプション設定予定)		
スタンド	卓上スタンド (取り外し可)		
適合規格等	安全	電気用品安全法	
	パワーセーブ	VESA DPM準拠	
	不要輻射	VCCI-B、JIS C 61000-3-2	
	その他	DDC/CI	
使用環境条件	温度	5~40℃	
	湿度	10~80% (結露のないこと)	
保管環境条件	温度	-20~60℃	
	湿度	10~90% (結露のないこと)	
電源	電源入力	AC100V~240V、50/60Hz	
	消費電力	通常動作時	370W
		パワーセーブ時	3W、電源OFF時：3W、主電源OFF時：0W
質量	ディスプレイ 本体	スタンド含む	約66.0kg
		スタンドなし	約62.0kg
		梱包状態 (質量/寸法)	約77.0kg / 1587(W)mm×965(H)mm×377(D)mm
外形寸法			
オプション外部スピーカー	定格音声入力：7W、インピーダンス：8Ω		

\*1 照明学会で推奨される明るい室内 (750ルクス) での参考値。

\*2 RGB3のみ出力されます。

## 壁掛け・天吊り時の注意事項

- 壁掛け・天吊りの設置をする前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

### ❗ 注意

お客様による壁掛けや天吊りの設置は絶対におやめください。壁掛けや天吊りの設置はお買い上げ販売店か工事専門業者にご依頼ください。

壁や天井の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、取り付け場所については工事専門業者または販売店にご相談ください。

なお、据付・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損害については、弊社は一切責任を負いません。

取付金具や取り付け場所に不具合が発生した場合を想定して、複数の取付金具を使用する、複数の場所で支えるなどの対応をおこなってください。

### ■ 壁掛けや天吊りの設置の際は以下の注意点をご確認のうえおこなってください。

必ず VESA 規格に準拠した取付金具を使用してください。

ディスプレイへの金具の取り付けには、M8 ネジ（長さは取付金具の板厚 + 15mm）を使用し、しっかりと締めてください。（締付トルク 1125 ~ 1375N・cm）

壁掛けや天吊り設置の場合は工事専門業者が責任を持っておこなってください。

金具取り付け面の強度を十分確認して設置してください。

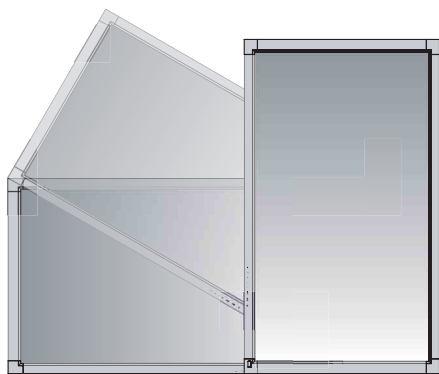
取り付け前に、強度など安全性の確認をおこなってください。

金具の一部がディスプレイのファンや、通風孔をふさがないようにご注意ください。

取付方法の詳細は、市販の取付金具の取扱説明書を参照ください。

### ■ 取り付け向きについて

本機を縦型の状態で設置する場合は、正面から見て左側面を上側にしてください。上下逆さまでの設置はできません。



### ■ 取り付け場所について

本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できる、強度のある場所を選んでください。強度の不十分なところに設置すると、落下して重大事故の原因となることがあります。

人が容易にぶら下がったり、寄り掛かれるような場所、頭や目がぶつかってしまうような場所、振動、衝撃の加わる場所、または、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。壁に埋め込むなど、本機の背面に空間が無いように設置する場合は、本機の上下左右にそれぞれ 100mm 以上の空間を設けてください。

設置の場所や状態によって本機内部に熱がこもらないように、空調や通風には十分配慮してください。

荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受けるようにし、確実に取り付けてください。

強度が不十分な設置面への直接取り付けはおこなわないでください。

### ■ 設置後のメンテナンス

ねじのゆるみや部品のずれ・ゆがみなど異常や不具合が発見された場合には、すぐに工事専門業者または販売店に修理を依頼してください。

環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足する恐れがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、メンテナンスをおこなってください。